取扱説明書・保証書(裏表紙)

REGZA

4K液晶テレビ

形名　55Z870N/65Z870N/75Z870N

★ **インターネットへの接続をおすすめします**
インターネットに接続すると、さまざまなサービスが利用できるクラウドサービスや、快適にご利用いただくための最新ソフトウェアへの更新など、より便利にそして快適に本機をご利用いただけます。

◆ご登録をお願いします◆ お客様登録サイト<レグザ メンバーズ> <LINE 公式アカウント>

<レグザメンバーズ>

「レグザ メンバーズ」は、映像商品のお客様登録サイトです。

ご登録いただくと、さまざまなサービスやサポートが受けられます。

※Web限定のサービスです。

https://store.regza.com/members/

<LINE 公式アカウント>

基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご確認は、LINEでもお問い合わせいただけます。

※ WEBサイト、メールでのお問い合わせについては 49 をご覧ください。

：：必ず本製品をご利用いただく前に
「本製品のご利用に関する重要なお知らせ」44 をご覧ください。

：：必ず最初に「安全上のご注意」4 をご覧ください。

：：映像や音声が出なくなった、操作ができなくなったなどの場合は、
「困ったときには」42 をご覧ください。

このたびは当社製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みください。

お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

- 本書は本機の設置・接続と基本的な操作について説明しています。
- **本機の詳しい操作については、設定を押し、「初期設定・機能操作ガイド」⇨「機能操作ガイド」で表示される機能操作ガイドをご確認ください。**

スマートフォン・タブレットを使うと、テレビを操作しながらご覧いただけて便利です。

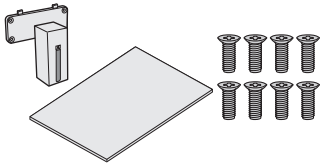
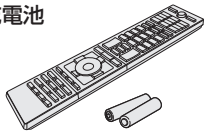
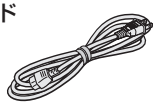
レグザ取扱説明書ダウンロードページ
共通取説(2024年版)・機能操作ガイド

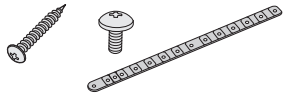
https://cs.regza.com/mnul/search_category_list2.php?ec1=15
※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。

最初に確認してください

付属品を確認する

- 本機には以下の付属品があります。お確かめください。
- アンテナや外部機器などに接続するためのケーブルやコード、器具・機器などは付属されておりません。機器の配置や端子の形状、使用環境などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。

付属品/名称	付属数
スタンド ● 本体に取り付けます。  支柱、スタンドベース、スタンド組立・取付ネジ(M5ネジ(長)) 8本	1式
リモコン(CT-90504) **単四形乾電池** 	リモコン 1個 乾電池 2個
電源コード 	1本

付属品/名称	付属数
ネジ(長)、ネジ(短)、転倒防止バンド ● テレビの転倒・落下防止に使います。12 	各1本
コードクランプ ● 配線の整理に使用できます。取付用ネジ(M3ネジ)は支柱についています。 	1個
取扱説明書(本書)	1部

※ B-CASカードは付属していません(ＡＣＡＳチップが搭載されています)。
※ 付属品紛失の際は弊社部品をお求めください。

もくじ

安全上のご注意 4

準備・接続をする

各部のなまえ 10
テレビを設置する 12
デジタル放送の種類と特徴 13
アンテナを接続する 13
外部機器を接続する 15
タイムシフトマシン録画の接続・設定をする 21
録画機器を接続する 24
インターネットを利用するための接続をする 26
リモコンの準備をする 28
電源を入れる 31
「はじめての設定」をする 32

テレビをつかう

ACASチップ情報を確認する 34
ソフトウェアを更新する 35
使用上のお願いとご注意 37
お手入れについて 41

困ったときには

こんな場合は故障ではありません 42
症状に合わせて解決法を調べる 42
ライセンスおよび商標などについて 43
本製品のご利用に関する重要なお知らせ 44
仕様 47
保証とアフターサービス 49

この取扱説明書内のマークの見かた

関連する内容が記載されているページの番号を示しています。

「機能操作ガイド」に関連する内容が記載されている事を示しています。

お知らせ

- この取扱説明書は、55Z870N ／ 65Z870N ／ 75Z870Nで共用です。
  記載しているイラストは55Z870Nのものです。本書のイラストや画面表示はイメージであり、実際とは異なる場合があります。
- ソフトウェアのバージョンアップなどにより、実際の表示画面は変更される可能性があります。
- 当社サポートサイト(https://www.regza.com/support)の「取扱説明書（マニュアル）ダウンロード」には最新の取扱説明書を掲載しており、製品発売後に追加公開された説明資料が掲載される場合もありますので、本書でお探しの情報が見つからないときは、合わせてご確認ください。

安全上のご注意　必ずお守りください

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明

表　示	表　示　の　意　味
警告	“取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷*1を負うことが想定されること”を示します。
注意	“取扱いを誤った場合、人が軽傷*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温・化学）、感電、骨折、中毒などで、後遺症があるもの、および治療に入院や長期の通院を要するものをさします。
*2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています（次は図記号の例です）

禁止（してはいけないこと）を示します。（禁止）

指示する行為の強制（必ずすること）を示します。（指示）

注意を示します。（注意）

警告

異常や故障のとき

■ 煙が出ている、焦げ臭いにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 画面が映らない、音が出ないときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

■ 内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

■ 落としたり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。破損したままで取り扱うと、けがのおそれがあります。
お買い上げの販売店に、点検・修理をご依頼ください。

■ 電源コードや電源プラグが傷んだり、発熱したりしたときは、本体の電源ボタンを押して電源を待機にし、電源プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜く

プラグを抜け

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

設置するとき

■ 本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する

指　示

万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。

■ 屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には置かない

風呂、シャワー室での使用禁止

火災・感電の原因となります。

■ ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かない

禁　止

テレビが落下すると、重大なけがや死亡の原因となります。
多くのけが、特にお子様のけがは以下のような簡単な予防措置を取ることで回避できます。

- スタンドは本機に付属のスタンドを付属のネジで本機の本体に固定して使用する。
- 本機を安全に保持できるテレビ台などの専用の家具を使用する。
- 本機は設置するテレビ台などの家具の端からはみ出さないように設置する。
- 背の高い家具（食器棚や本棚など）の上には本機と家具の両方を頑丈な柱や壁などに確実に固定した場合以外は設置しない。
- 本機と本機を設置するテレビ台などの家具の間には、布など何も敷かない。
- お子様には、本機やリモコンを操作するために本機を設置したテレビ台などの家具によじ登ると危険であることをよく説明して教え、お子様がテレビを設置した家具によじ登らないように注意する。

これまで使用していたテレビを使い続ける場合や別の場所に移動する場合にも上記と同様な対応が必要です。
テレビ台を使用するときは、その取扱説明書もよくお読みください。

■ 振動のある場所に置かない

振動禁止

振動でテレビが移動・転倒し、けがの原因となります。

■ 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む

指　示

交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。
傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

■ 電源コードのコネクターは、本機のAC INPUT端子に確実に差し込む

指　示

差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。
本機を移動したりしたときは、差込部分のゆるみがないかご確認ください。

■ 上に物を置いたり、ペットをのせたりしない

上載せ禁止

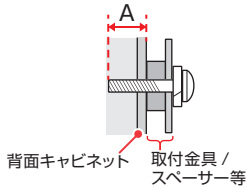
金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体、ペットの尿・体毛などが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

■ 取付金具をテレビに取り付ける場合にはテレビ本体に取り付けてあるネジは使用しない

禁　止

取付金具側で指定されているネジを使用しないと、テレビが脱落してけがの原因となります。

取付金具用ネジ穴へ器具を取り付ける場合、取り付け面からのねじ長さが図の寸法のネジをご使用ください。



形名	A (mm)	固定ネジ径
55Z870N	9～15	M6
65Z870N		
75Z870N	12～15	M8

■ 転倒・落下防止の処置をする

指　示

転倒・落下防止の処置をしないと、テレビの転倒・落下によってけがなどの危害が大きくなります。
転倒防止のしかたは12をご覧ください。

■ 壁に取り付けて使用する場合、壁掛工事は、お買い上げの販売店に依頼する

指　示

工事が不完全だと、けがの原因となります。

■ 壁に取り付けて使用する場合には、垂直な壁面に取り付け角度0°で設置する

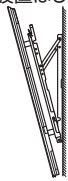
指　示

本機の取付角度は(垂直な壁面に対して）0°のみに対応しています。取付金具で傾けた設置をすると、テレビが落下して、テレビの破損だけでなく、けがや床などが損傷する原因となります。

■ 壁に取り付けて使用する場合には、

禁　止

● 取付金具で傾けた設置はしない　● 傾斜した壁面へは設置しない



取付金具で傾けた設置や、傾斜した壁面への設置をすると、テレビが落下して、テレビの破損だけでなく、けがや床などが損傷する原因となります。

使用するとき

■ 修理・改造・分解はしない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■電源コード・電源プラグは、

禁　止

- **傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したり（熱器具に近づけるなど）しない**
- **引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない**
- **無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない**

火災・感電の原因となります。

■ 異物を入れない

異物挿入禁止

通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様にはご注意ください。

■ 雷が鳴りだしたら、本機・電源コード・アンテナ線および本機に接続した機器やケーブル・コードに触れない

禁　止

感電の原因となります。

■ 包装に使用しているビニール袋でお子様が遊んだりしないように注意する

指　示

かぶったり、飲み込んだりすると、窒息のおそれがあります。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

■ 電源コードは、本機の付属品を使用する

指　示

付属品以外の電源コードを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

■ 本機に付属されている電源コードを他の機器に使用しない

禁　止

他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

お手入れについて

■ ときどき電源プラグを抜いて点検し、プラグやプラグの差込口にゴミやホコリが付着している場合は、きれいに掃除する

指　示

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

⚠注意

設置するとき

■ 温度の高い場所に置かない

禁　止

直射日光の当たる場所やストーブのそばなど、温度の高い場所に置くと火災の原因となることがあります。
また、キャビネットの変形や破損などによって、感電の原因となることがあります。

■ 通風孔をふさがない

禁　止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
壁に押しつけないでください。（10cm以上の間隔をあける）
押し入れや本箱など風通しの悪いところに押し込まないでください。
テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
じゅうたんや布団の上に置かないでください。
あお向け･横倒し･逆さまにしないでください。

■ 湿気・油煙・ホコリの多い場所に置かない

禁　止

加湿器・調理台のそばや、ホコリの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。

■ 移動したり持ち運んだりする場合は、

指　示

- **包装箱から出すとき、持ち運ぶときは、二人以上で取り扱う**
  一人で取り扱うと、身体を痛めたり、テレビを落としてけがをしたりする原因となることがあります。
- **離れた場所に移動するときは、電源プラグ・アンテナ線・機器との接続線および転倒防止をはずす**
  はずさないまま移動すると、電源コードが傷つき火災・感電の原因となったり、テレビが転倒してけがの原因となったりすることがあります。
- **車（キャスター）付きのテレビ台に設置している場合、移動させるときは、キャスターの固定を解除し、テレビを支えながら、テレビ台を押す**
  テレビを押したり、テレビを支えていなかったりすると、テレビが落下してけがの原因となることがあります。
- **衝撃を与えないように、ていねいに取り扱う**
  テレビが破損してけがの原因となることがあります。

■ 位置を調整する場合は、本体キャビネット部を持って調整する

指　示

パネルに無理な力が加わると、パネルが破損するおそれがあります

■ 車（キャスター）付きのテレビ台に設置する場合は、キャスターが動かないように固定する

指　示

固定しないとテレビ台が動き、けがの原因となることがあります。
畳やじゅうたんなど柔らかいものの上に置くときは、キャスターをはずしてください。キャスターをはずさないと、揺れたり、傾いたりして倒れることがあります。

使用するとき

■ テレビ台を使用するときは、

禁　止

- **不安定な台を使わない**
- **片寄った載せかたをしない**
- **テレビ台の扉を開けたままにしない**
- **耐荷重が本機の質量より軽いテレビ台を使わない**
- **テレビ台の端からはみ出さない**
- **本機とテレビ台の間には布など何も敷かない**

倒れたり、破損したり、指をはさんだり、引っ掛けたりして、けがの原因となることがあります。特にお子様にはご注意ください。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない

禁　止

タコ足配線をしないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない

引っ張り禁止

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグを持って抜いてください。

■ ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

■ テレビやテレビ台にぶら下ったり、上に乗ったりしない

禁　止

落ちたり、倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。
特にお子様にはご注意ください。

■ 旅行などで長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜け

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。
本体ボタンやリモコンの電源ボタンを押して画面を消した場合でも、本機への通電は完全には切れていません。本機への通電を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■ ヘッドホンやイヤホンを使用するときは、音量を上げすぎない

禁　止

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ リモコンに使用している乾電池は、

禁　止

- **指定以外の乾電池は使用しない**
- **極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない**
- **充電・加熱・分解したり、ショートさせたりしない**
- **火や直射日光などの過激な熱にさらさない**
- **表示されている「使用推奨期限」の過ぎた乾電池や、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない**
- **長期間使用しないときは、乾電池をリモコンに入れておかない**
- **種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない**

これらを守らないと、液もれ・発熱・発火・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
器具についたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

■ 液晶テレビの画面をたたいたり、衝撃を加えたりしない

禁　止

ガラスが割れて、けがの原因となることがあります。
もしも、ガラスが割れて液晶（液体）がもれたときは、液晶に触れないでください。
もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたりしたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。
衣服などについたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。
床や周囲の家具、機器などについたときは、液に直接触れないでふき取ってください。

■ テレビの周囲に薬品、芳香剤、消臭剤、化粧品、洗剤などを置かない

禁　止

薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などの中には、プラスチックに付着すると劣化やひび割れを生じさせるものがあります（詳しくは、下の「お知らせ」をご覧ください）。
テレビのキャビネットやスタンド部分が破損すると、感電の原因となったり、テレビが転倒してけがの原因となったりすることがあります。
薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などがテレビに付着したときは、すぐにきれいにふき取ってください。
テレビのキャビネットやスタンド部分などにひび割れなどの破損が生じたときは、すぐにお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お知らせ

- 本機のキャビネット、スタンドなどにはプラスチックが多く使われています。薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などの中にはプラスチックに付着したままにしておくと、プラスチックの劣化・ひび割れ（ケミカルストレスクラック）の原因となるものもあります。
「ケミカルストレスクラック」とは、製品荷重などの応力が加わっているプラスチック部分に、薬品・芳香剤・消臭剤・化粧品・洗剤などが付着すると、付着物がプラスチック内部に浸透して応力との相互作用でひび割れや破損が発生する現象です。こぼれたこれらの液体などが、製品底面のプラスチック部分と設置台のすき間に浸み込んだ場合でも、放置すると発生することがあります。

お手入れについて

■ お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く

プラグを抜け

感電の原因となることがあります。
お手入れのしかたは 41 をご覧ください。
（電源プラグを抜く前に、「電源プラグをコンセントから抜く際のご注意」37 をお読みください）

■ 1年に一度は内部の清掃を、お買い上げの販売店にご相談ください

指　示

本体の内部にホコリがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。内部清掃費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

■ お手入れや、画面の向きを変える際に、

禁　止

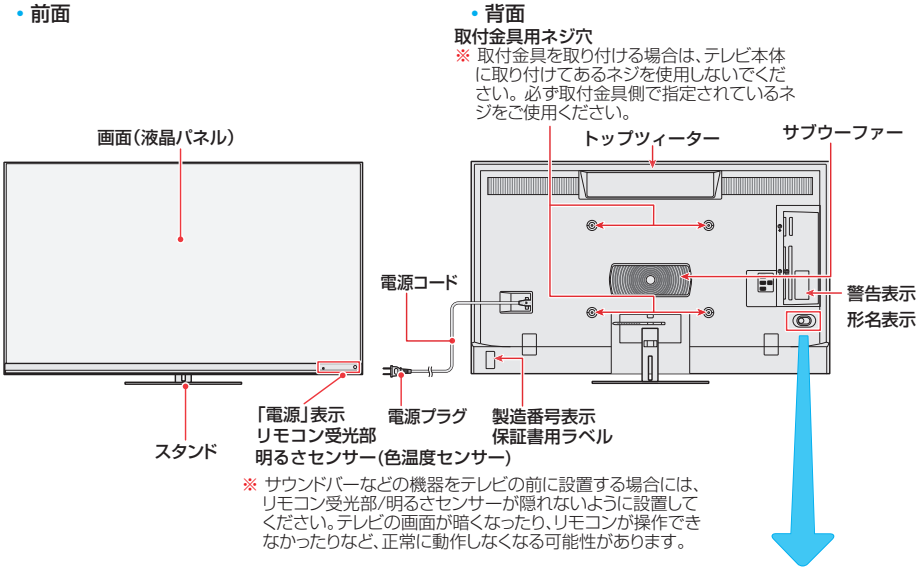
- **画面とキャビネットの隙間に液体や異物を入れない**
- **画面のみを押したり、引っ張ったりしない**

画面の内面はガラスでできています。無理に曲げたり、傷つけたりした場合、画面が割れて、けがの原因となることがあります。お手入れのしかたは 41 をご覧ください。

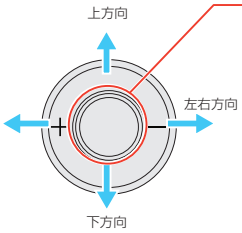
各部のなまえ

- 製品イラストは55Z870Nです。他の機種はイメージが多少異なります。
- 詳しくは☞内のページをご覧ください(代表的なページを示しています)。

前面/背面と本体ボタン



※ サウンドバーなどの機器をテレビの前に設置する場合には、リモコン受光部/明るさセンサーが隠れないように設置してください。テレビの画面が暗くなったり、リモコンが操作できなかったりなど、正常に動作しなくなる可能性があります。



• 背面から見た図

本体ボタン

電源

- 中央部を押すと電源を待機／入します。

機能切換

- 下に動かすたびに、本体ボタンを左右に動かしたときの機能が切り換わります。

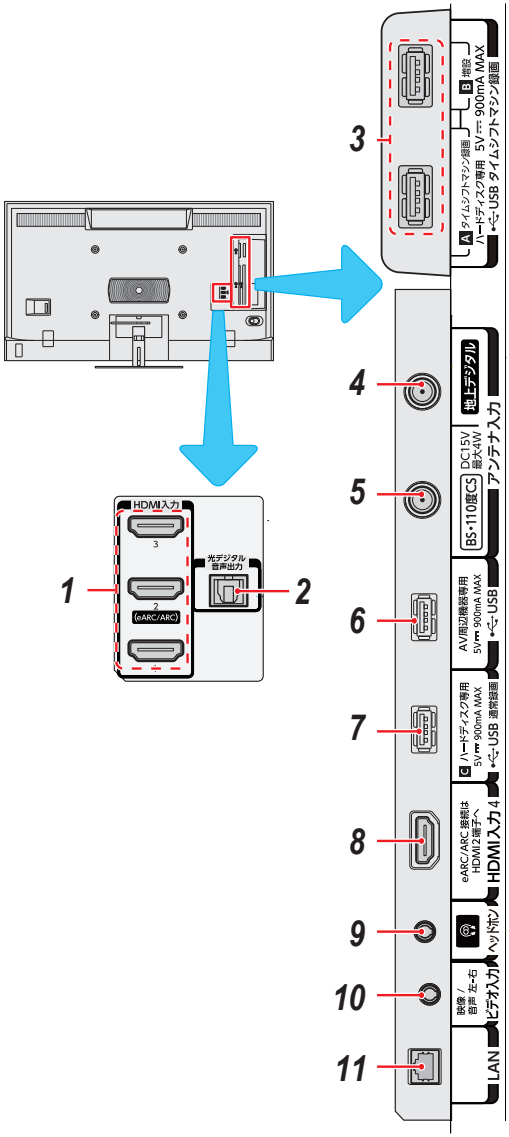
音量

- 通常は、左右に動かすと音量の調節をします。
  本体ボタンを下に動かすたびに、機能が切り換わります。

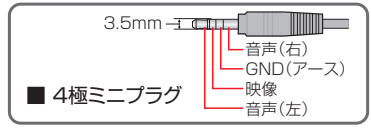
消音

- 上に動かすと、音を一時的に消します。
  もう一度上に動かすと音が出ます。

背面端子



1. HDMI入力1、2(eARC/ARC)、3端子 16
映像機器やオーディオ機器を接続します。レグザサウンドシステムやeARC/ARC対応のオーディオ機器(オーディオシステム)はHDMI入力2（eARC/ARC)端子に接続してください。
2. 光デジタル音声出力端子 17
光デジタル音声入力端子を備えたオーディオ機器などに接続します。
3. タイムシフトマシン録画用USB端子 22
タイムシフトマシン録画用USBハードディスク(別売)を接続してタイムシフトマシンの機能が使用できます。
4. 地上デジタルアンテナ入力端子 13
地デジ受信用のUHFアンテナを接続します。
5. BS･110度CSアンテナ入力端子 13
衛星放送を視聴する場合にBS・110度CS共用アンテナを接続します。
6. USB(AV周辺機器専用)端子 19
USB機器を接続します。
7. USB(通常録画)端子 24
USBハードディスクを接続して録画・再生ができます。
8. HDMI入力4端子 16
映像機器やオーディオ機器を接続します。レグザサウンドシステムやeARC/ARC対応のオーディオ機器(オーディオシステム)はHDMI入力2（eARC/ARC)端子に接続してください。
9. ヘッドホン出力端子
ヘッドホンで聴くときに、プラグをここに差し込みます。
10. ビデオ入力端子 16
映像機器を接続します。
※ 市販の4極ミニプラグの映像/音声ケーブルをご使用ください。



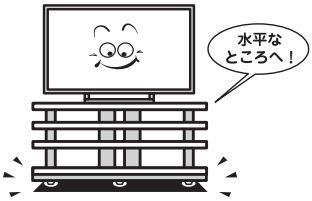
11. LAN端子 26
ホームネットワークやインターネットに接続します。

テレビを設置する

● 設置の前に「安全上のご注意」4 ～ 9 を必ずお読みください。

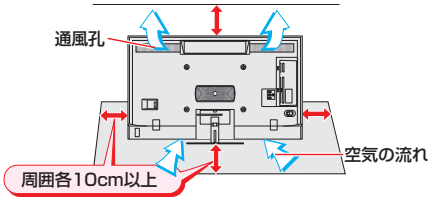
正しい置きかた

■ 丈夫で水平な安定した所に設置してください



■ 周囲から離して置いてください

● 通風孔をふさがないように本機の上および周囲に10cm以上の空間を設けてください。



■ テレビ台を使用する場合

● テレビ台の取扱説明書をご覧ください。

お願い

● 他のデジタル機器や電子レンジなどから出る電磁波によって、本機の映像が乱れたり、雑音が出たりすることがあります。相互に影響しない位置に設置してください。

転倒・落下防止のしかた

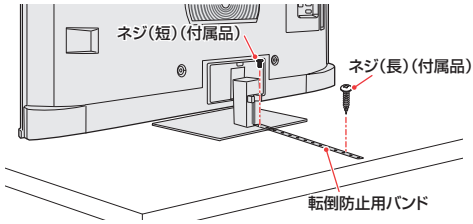
● 転倒・落下防止器具を取り付ける台や壁の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適切な補強を施してください。以下に記載した転倒・落下防止のしかたは、けがなどの危害の軽減を意図したものですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

※ 固定後は、本機を押したり、持ち上げたりしないでください。破損の原因になります。

転倒防止用バンドを使用して固定するとき

● スタンドに転倒防止用バンドの一方をネジ（短）で取り付け、反対側を設置する台の確実に支持できる天面に付属のネジ（長）で固定します。

※ 後方には倒れることがあります。固定後は台を壁などに近付けて設置し、お子様がはいれないようにしてください。

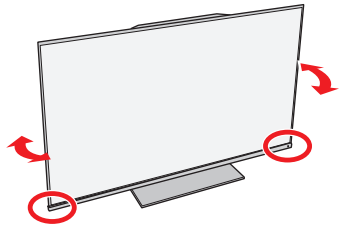


本機を見やすい角度に調整するとき（55/65Z870N）

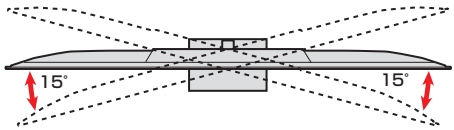
● 本体が左右方向に約15°ずつ回転します（前後方向には傾けられません）。

● 見やすい角度に調整してお使いください。テレビの下部両側を支えて調整してください。片側だけを押したり引いたりすると、テレビが倒れたり、破損したりすることがあります。

回転範囲内には手や物を入れないでください。



※ 回転させるときは下部を支え、画面を強く指で押さないようにご注意ください。



デジタル放送の種類と特徴

- 本機は以下のデジタル放送を受信することができます。

地上デジタル放送

地上波のUHF帯を使用したデジタル放送です。

- **UHF帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特徴です**
- **本機は「CATVパススルー対応」です**
  ケーブルテレビ局が再送信する地上デジタル放送を受信することができます。

BSデジタル放送/110度CSデジタル放送

- 受信にはBS・110度CS共用アンテナを使用します。
- **BSデジタル放送**
  デジタル方式の放送衛星(Broadcasting Satellite：通称BS)を使用したデジタル衛星放送です。
  - 日本全国どこでも同じ放送を楽しむことができ、一部に視聴契約が必要な有料チャンネルがあります
  - 2種類のデータ放送(連動データ放送、独立データ放送)や双方向サービスがあります
- **110度CSデジタル放送(CS)**
  BSデジタル放送の衛星と同じ東経110度に打ち上げられている通信衛星(Communication Satellite：通称CS)を利用して、スカパー JSAT（株)が運用しているデジタル衛星放送です。
  - **さまざまなテレビ番組や専門チャンネル、データ放送などの多彩な放送があります**
  - **多くのチャンネルで有料の視聴契約が必要です**

4K8K衛星放送

「4K8K衛星放送」とは、2018年12月から放送を開始したBS・110度CSの4K・8K放送のことです。

- 「4K8K衛星放送」の開始後も、従来のBS・110度CSおよび地上デジタル放送は引き続き提供されています。
- 「4K8K衛星放送」はBS・110度CS放送で従来から使用されていた放送波(右旋円偏波の電波)と、新しく使用された放送波(左旋円偏波の電波)で提供されています。

ご注意

- 本機は8K放送には対応しておりません。

アンテナを接続する

※ **アンテナ工事には技術と経験が必要です。アンテナの設置・調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。**

- **アンテナや接続に必要なアンテナ線(同軸ケーブル)、分波器、分配器などは付属されておりません。**
  機器の配置や端子の形状、受信する放送の種類(電波の種類)などに合わせて適切な市販品を別途お買い求めください。
- **F型コネクターがネジ式のアンテナ線をおすすめします。**
  差込式のものを使用する場合は、本機のアンテナ端子のネジ部分と確実に接触するものをご使用ください。接触が悪いと、受信できなかったり、時々映らなくなったりすることがあります。
- **F型コネクターのピンが曲がっていないか確認してください。**
  曲がったままで接続すると、折れたり、ショートしたりすることがあります。
- **アンテナ線のF型コネクターは、ゆるまない程度に手で締めつけてください。**
  工具などで締めつけすぎると、壁のアンテナ端子や本機のアンテナ入力端子、背面パネルが破損するおそれがあります。
- **アンテナを接続するときは必ず本機の電源を待機にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。**

テレビが映らないとき

- 「はじめての設定」32 をしてもテレビが映らない、または映りが悪いような場合は、録画機器を経由しないで本機に直接接続してみてください。改善される場合、本機の問題ではありません。
  - 録画機器の電源プラグが抜けていると、アンテナ出力端子に電波が出力されない場合があります。
- 症状が改善されない場合は、機能操作ガイドの「アンテナを調整する」をご覧ください。

BS・110度CSの4K放送を視聴する場合のご注意

- 右旋円偏波の電波で提供される日本放送協会(NHK)、BS日本(BS日テレ)、BS朝日、BS-TBS、BSフジ、BSテレビ東京の4K放送は、従来のアンテナ設備でご覧いただけます。
- 左旋円偏波の電波で提供されるSCサテライト放送、QVCサテライト、WOWOWの4K放送をご覧いただくためには、SHマークのついた4K8K衛星放送に対応したBS・110度CSアンテナ設備が必要になります。アンテナの設置・調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。

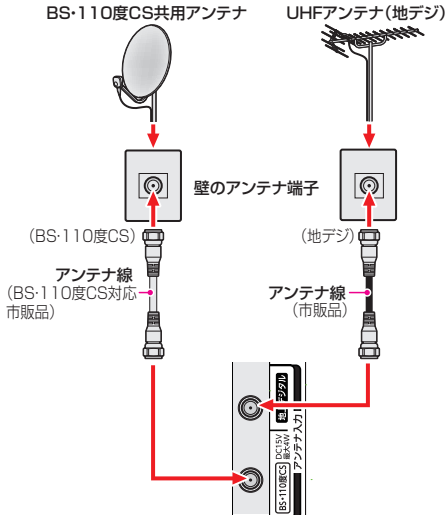
ご注意

- **上記の内容に限らず、現在使用中の機器などの性能・機能によっては、機器交換や工事が必要な場合があります。**
  また、衛星放送用受信設備の技術基準に適合させるため、機器交換や工事が必要な場合があります。
  お買い上げの販売店にご相談ください。
- **録画機器を経由してアンテナを接続しているとき、テレビが映らない、または映りが悪いような場合は、録画機器を経由しないでアンテナ線を本機に直接接続してみてください。改善される場合、本機の問題ではありません。**

4K8K衛星放送に関するお問い合わせ

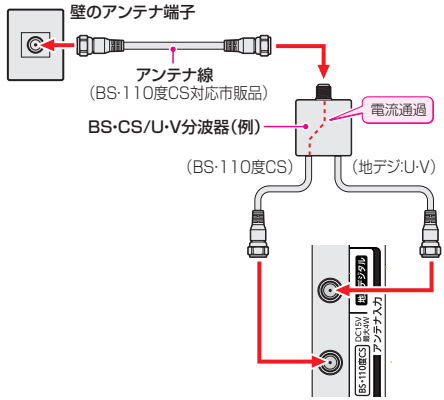
- 4K8K衛星放送に関するお問い合わせは下記のホームページを参照ください。
  一般社団法人　放送サービス高度化推進協会(A-PAB)ホームページ
  https://www.apab.or.jp

地上放送と衛星放送が個別のアンテナの場合



地上放送と衛星放送が混合のアンテナの場合

- マンションの共聴アンテナなど、地上放送と衛星放送の電波が混合されて壁のアンテナ端子に届いている場合は、以下のように接続します。
- マンションなどでの共聴システムの場合は、視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。

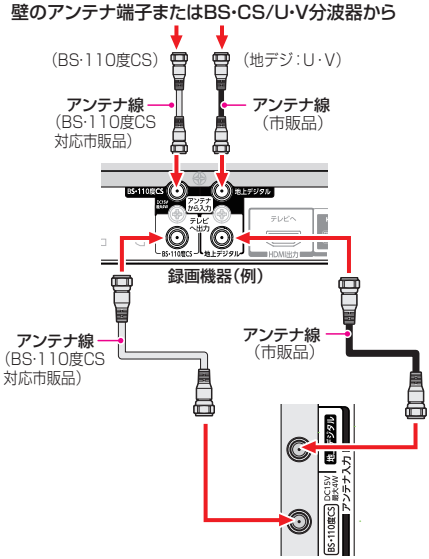


- BS・110度CS共用アンテナは電源を必要とします。
  BS・CS/U・V分波器は、本機のBS・110度CSアンテナ入力端子からアンテナ電源が供給できるように、電流通過型のものが必要になります。

※ マンションなどでの共聴システムの場合は、本機からBS・110度CS共用アンテナ用の電源を供給する必要はありません(「はじめての設定」32 のあとで「衛星アンテナ電源供給」を「しない」に設定してください。詳しくは機能操作ガイドをご覧ください)。

録画機器を経由する場合

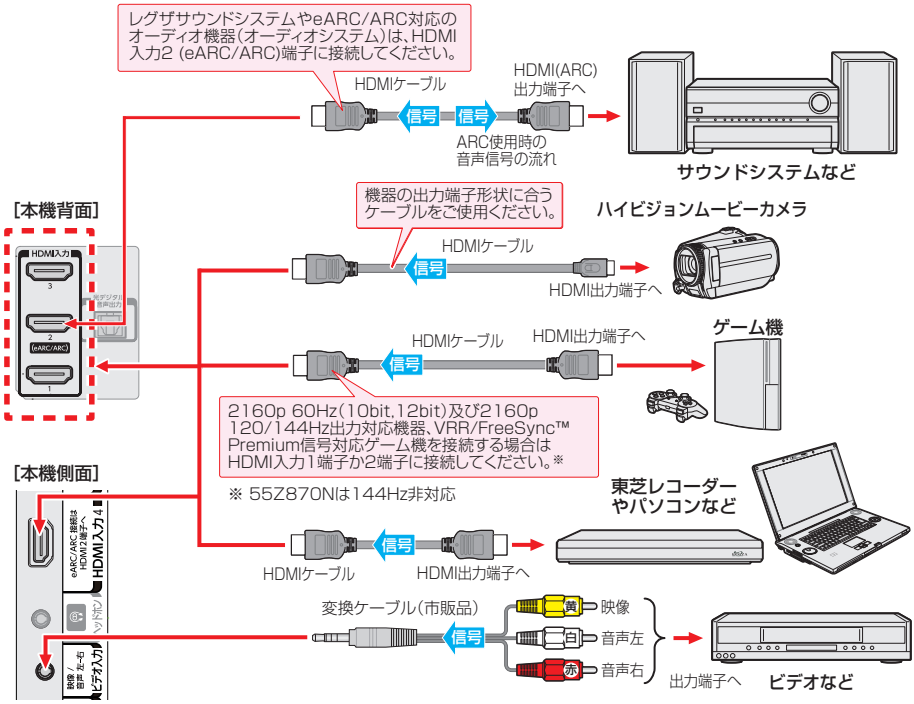
- 録画機器のBS・110度CSアンテナ電源が供給される設定になっていることを確認してください。詳しくは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。



外部機器を接続する

外部機器接続例

- レコーダーなどの録画機器の場合、アンテナの接続については、「録画機器を経由する場合」をご覧ください。
- 接続が終わったら、「外部入力の機能を設定する」(機能操作ガイド「接続機器を使う」》「外部入力の機能を設定する」)を参照して必要な設定をしてください。
- HDMI連動機器(レグザリンク対応機器)では、本機との連動機能によって、ワンタッチプレイやシステムスタンバイの機能を使ったり、本機のリモコンで機器の基本操作をしたりすることができます。詳しくは、「レグザリンクについて」(機能操作ガイド「接続機器を使う」》「レグザリンクについて」)をご覧ください。必要に応じて「HDMI連動機能」(機能操作ガイド「接続機器を使う」》「本機のリモコンでHDMI連動機器を操作するための設定をする」)の設定をしてください。
- AVアンプなどのオーディオ機器がeARC(エンハンスドオーディオリターンチャンネル)やARC(オーディオリターンチャンネル)に対応している場合、従来必要だった光デジタルケーブルは不要で、eARC/ARC対応のHDMIケーブル1本で接続できます。eARC/ARC対応していないオーディオ機器とHDMIケーブルで接続する場合は、「レグザリンク対応のオーディオ機器で聴くとき」18 をご覧ください。



お知らせ

※ 本機の「レゾリューションプラス」(機能操作ガイド「設定・調整をする」》「精細感・ノイズ調整」)と同様の高画質機能を備えた機器を接続した場合、本機の機能との相互作用で画面のノイズが目立つことがあります。その場合には、接続機器の高画質機能または本機の「レゾリューションプラス」をオフにしてください。

- 変換ケーブルは、片方が4極ミニプラグのビデオケーブル(市販品)を使用してください。
- レグザリンク対応の東芝レコーダーについては、ホームページ (https://www.regza.com)をご覧ください。
- 本機のHDMI入力端子は、4K映像機器にも対応しています。
- 本機のHDMI入力端子が対応している入力信号およびHDMIケーブルについては次ページをご覧ください。
- HDMI 4K入力については、すべての4K入力映像の表示を保証するものではありません。

■ パソコンについて

- 外部モニターで表示できるように設定し、本機が対応しているHDMI入力信号フォーマットの信号(機能操作ガイド「さまざまな情報」》「本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット」)を入力してください(本機が対応している信号を入力しても、パソコンによっては本機が認識できないことがあります)。
- パソコンのDVD再生ソフトなどで再生した映像は、本機の画面で正しく表示されなかったり、映像の動きが不自然になったりすることがあります。

- HDMIケーブルは、HDMIロゴ(HDMI)の表示があるケーブルをご使用ください。

※ 外部機器から1080pの映像信号を入力する場合は、ハイスピードHDMI®ケーブルをご使用ください。

※ 外部機器から4Kの映像信号(2160p)を入力する場合は、プレミアムハイスピードHDMI®ケーブルをご使用ください。

※ 外部機器から4Kの映像信号(2160p 60Hz(10bit,12bit)および2160p 120Hz,144Hz)を入力する場合は、ウルトラハイスピードHDMI®ケーブルをご使用ください(HDMI入力1、2端子のみ)。
* 55Z870Nは144Hz非対応。

● 本機に接続できる接続ケーブル(接続コード)の種類と本機で対応している信号の種類および、これらの中で比較した画質・音質の関係を下表に示します。

接続ケーブル(接続コード)	画質・音質	本機の入出力対応信号
HDMIケーブル(入力用/eARC/ARC用)	高画質 高音質	**デジタル映像信号** 480i、480p、720p、1080i、1080p、2160p、2160p 60Hz(10bit, 12bit)、2160p 120Hz、144Hz (HDMI入力1、2端子のみ) ※ 55Z870Nは144Hz非対応 **デジタル音声信号(入力)** リニアPCM、AAC、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby Atmos サンプリング周波数:48kHz、44.1kHz、32kHz Dolby TrueHD サンプリング周波数:48kHz **デジタル音声信号(eARC/ARC)** リニアPCM、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby Atmos、Dolby TrueHD (eARCのみ)、AAC
映像・音声用コード(入力用)	標準画質 標準音質	**アナログ映像信号** 480i **アナログ音声信号**
オーディオ用光デジタルケーブル(出力用)	高音質	**デジタル音声信号(光)** リニアPCM、Dolby Digital、AAC
ヘッドホン用コード	標準	**アナログ音声信号**

● 接続ケーブルの端子形状などは一例です。設置場所や機器の仕様などに合わせて、適切な市販品をご使用ください。

著作権保護について

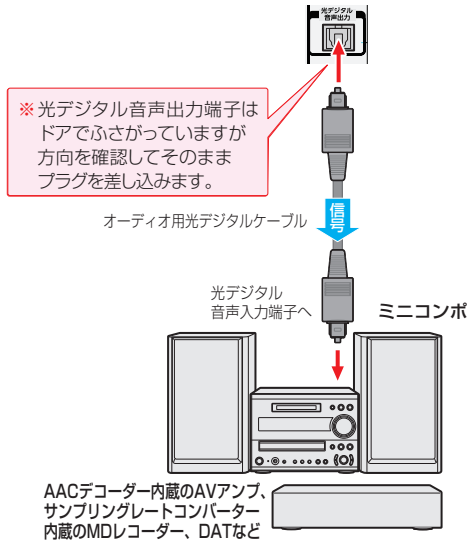
● 本機のHDMI入力端子は、HDCPで著作権保護されている映像の再生に対応しています。
対応HDCPバージョン:
HDCP1.4、HDCP2.3

デジタル音声(光)端子付のオーディオ機器で聴くとき

● **ミニコンポなどのオーディオ機器(サウンドシステム)に接続するとき**
- 本機の音量を最小に調節し、ミニコンポなどのオーディオ機器(サウンドシステム)側で音量を調節してください。
- オーディオ機器が対応しているデジタル音声入力に従って、「デジタル音声出力」(機能操作ガイド「設定・調整をする」》「音声詳細設定」)の設定をします。

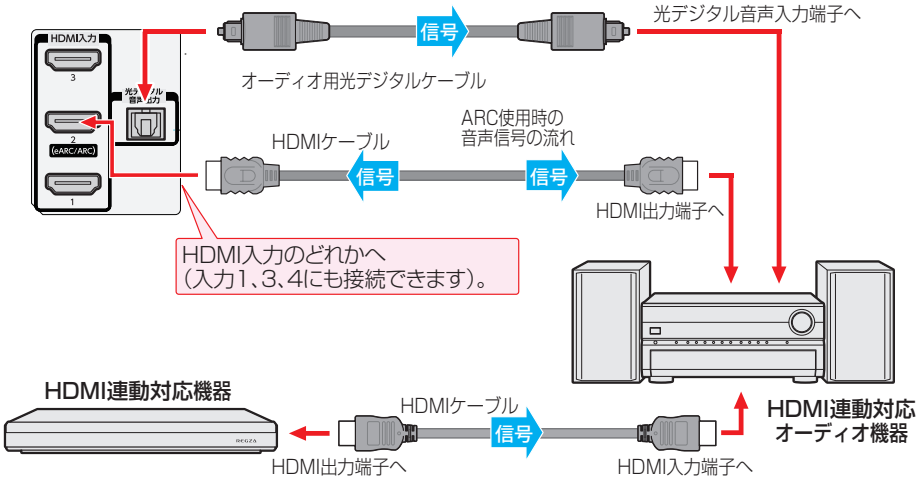
● **サンプリングレートコンバーター内蔵のMDレコーダーやDATに接続するとき**
- MDレコーダーやDATの光デジタル音声入力端子に接続すれば、高音質で録音して楽しむことができます。
- 「デジタル音声出力」「デジタル音声出力」(機能操作ガイド「設定・調整をする」》「音声詳細設定」)を「PCM」に設定します。

● **AACデコーダー内蔵AVアンプなどに接続するとき**
- デジタル放送のAAC方式の信号を、AACデコーダー内蔵AVアンプなどで楽しむことができます。
- 「デジタル音声出力」(機能操作ガイド「設定・調整をする」》「音声詳細設定」)を「デジタルスルー」に設定します。



レグザリンク対応のオーディオ機器で聴くとき

- レグザリンク対応のオーディオ機器を本機にHDMIケーブルで接続すれば、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節するなどの操作ができます。
- オーディオ機器のHDMI入力端子にレグザリンク対応機器(HDMI連動機器)を接続することができます。
- オーディオ機器が対応しているデジタル音声入力に従って、「デジタル音声出力」(機能操作ガイド「設定・調整をする」》「音声詳細設定」)の設定をします。また、必要に応じて「HDMI連動設定」(機能操作ガイド「接続機器を使う」》「本機のリモコンでHDMI連動機器を操作するための設定をする」)の設定をしてください。
- レグザサウンドシステムやeARC/ARC対応のオーディオ機器はHDMI入力2(eARC/ARC)端子に接続してください。



※ eARC/ARC対応のオーディオ機器を、eARC/ARC対応のHDMIケーブルでHDMI入力2(eARC/ARC)端子に接続する場合は、光デジタルケーブルの接続は不要です。

お知らせ

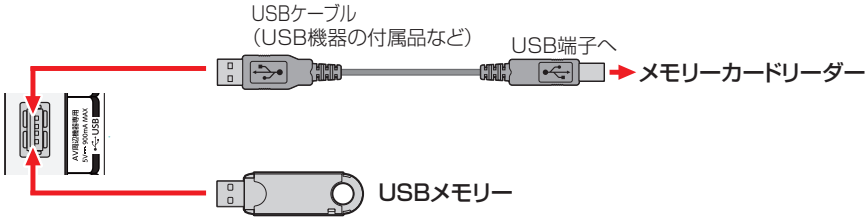
- 光デジタル音声出力端子とHDMI入力2(eARC/ARC)端子から出力される信号は、音声メニューおよび音声調整の効果を得られません(ドルビー DRCの効果は、「PCM」や「オート」を選択していてリニアPCM信号で出力される場合にだけ得られます)。
- サンプリングレートコンバーターを内蔵していないMDレコーダーには、デジタル信号での録音はできません。
- AAC音声の場合には、主音声・副音声の切換は本機では行われません。AACデコーダー側で切り換えてください。
- HDMI入力の選択時に、入力信号が著作権保護されている場合は、光デジタル音声出力端子またはHDMI入力2(eARC/ARC)端子から出力される信号を他の機器に録音することはできません。
- 本機のHDMI入力端子が対応している入力信号およびHDMIケーブルについては17をご覧ください。
- レグザリンク対応のオーディオ機器(推奨機器)については、ホームページ(https://www.regza.com/support)をご覧ください。
  HDMIのCEC (Consumer Electronics Control)による連動機能が動作しない場合にもeARCによってオーディオ機器で音を聞くことができます。ただしテレビのリモコンでオーディオ機器の電源や音量を操作することはできませんので、オーディオ機器側で操作してください。

USB機器を接続する

● USB機器に保存されている動画や写真を本機で見ることができます。
※ 暗号化や指紋認証などのセキュリティ機能を有効にした機器や記録メディアなどは、本機では使用できません。

ご注意

● 以下のUSB機器は、図の位置のUSB端子(AV周辺機器専用)に接続してください。USB（通常録画)端子には接続しないでください。
※ 録画用USBハードディスクはUSB（通常録画)端子へ接続してください。
● USB機器を取りはずすときは、動画や写真の再生を終了させてください。再生中に機器を取りはずしたり、電源を切ったりすると、機器や記録メディアに記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
● それぞれの機器の動作や取り扱いなどについては、機器の取扱説明書をよくお読みください。



向きを確認して差し込んでください。

お知らせ

● ファイルフォーマットがFAT32のUSB機器に対応しています。
● USBハブを使って本機のUSB端子に接続した場合に認識できるUSBハブは二つで機器数は最大7台です。スロットを複数持つメモリーカードリーダーなどの場合は、1スロットで1台とみなされます。なお、USBハブを使った場合は、正常に動作しないことがあります。

電源待機中のUSBの電源供給の設定をする

● 本機が電源待機中に、接続しているUSB機器に電源を供給するかの設定を変更できます。
※ この設定は録画用USBハードディスク端子の電源供給には影響しません。

1 **【設定】を押し、「省エネ・その他の設定」⇨「詳細機能設定」⇨「待機中ＵＳＢ電源供給」の順に進む**

2 **「する」または「しない」を選ぶ**

- **する**　電源待機中も接続したUSB機器へ電源を供給します。
  ※ 待機中の消費電力も増えます。
- **しない**　電源待機中はUSB機器へ電源を供給しません。

Bluetooth® 機器を接続する

● 本機はBluetooth®機能を搭載しており、Bluetooth®対応デバイスと無線で接続する事ができます。

Bluetooth®機能を使用する

● Bluetooth®を利用するかどうかの設定をします。

1 【設定】を押し、「省エネ・その他の設定」⇨「Bluetooth設定」⇨「Bluetooth」の順に進む

2 「オン」または「オフ」を選ぶ

● 「オン」にすると、Bluetooth®機器を接続して使用できるようになります。

● 「オフ」にすると、Bluetooth®機器は使用できなくなります。

Bluetooth®機器と接続(ペアリング)する

1 【設定】を押し、「省エネ・その他の設定」⇨「Bluetooth設定」の順に進む

2 「Bluetooth機器一覧」を選ぶ

● あらかじめ接続するBluetooth®機器を登録待機状態にしておいてください。

3 【赤】を押す

● デバイスの検出が始まるので、接続したい機器を選択します。

※ 検出中でも機器を選択、登録することができます。

4 画面の指示に従い、機器をペアリングする

● 接続するBluetooth®機器の操作方法については、ご使用になるBluetooth®機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

● Bluetooth®機器の登録や登録後の動作について保証はしておりません。

● A2DP対応のBluetooth®オーディオ機器を接続した場合、Bluetooth®の特性により音声が遅延するため、映像と音声にずれが発生します。

タイムシフトマシン録画の接続・設定をする

タイムシフトマシン録画について

● 本機の**USB（録画専用）タイムシフトマシン録画A、増設B端子**に別売の動作確認済USBハードディスクを接続すると、タイムシフトマシン録画ができます。

できること
指定した曜日・時間帯に最大6チャンネルの地上デジタル放送を自動で録画するタイムシフトマシン録画（下の説明）
過去番組表を使って、タイムシフトマシン録画した番組の再生、保存（機能操作ガイド「録画機器を使う」》「タイムシフトマシン録画番組を見る」）
ざんまいスマートアクセス（機能操作ガイド「録画機器を使う」》「ざんまいスマートアクセスで楽しむ」）

ご注意

● パソコンや他のテレビ、録画機器などで使用していたUSBハードディスクを本機に接続して登録すると、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。
● 本機で使用していたUSBハードディスクをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際に、本機で録画した番組はすべて消去されます。
● 本機に登録して録画したUSBハードディスクを他のテレビ（同じ形名のテレビを含みます）やパソコンなどに接続して再生することはできません。
● 本機は、コンテンツ権利保護専用方式（RMP方式）を採用しています。一部のケーブルテレビの自主放送などコンテンツ権利保護専用方式（ＲＭＰ方式）を採用していない番組は、タイムシフトマシン録画はできません。
● **USBハードディスクについて**
USBハードディスクは精密機器であり、使用環境などによっては数年で故障する可能性があります。一時的な保存・再生機能としてご使用ください。

タイムシフトマシン録画について

● **タイムシフトマシン録画は、指定した曜日・時間帯に最大6チャンネルの地上デジタル放送を、本機に接続したタイムシフトマシン録画用USBハードディスクに自動録画する機能です。**
- タイムシフトマシン録画用USBハードディスクの接続と設定の方法は、「タイムシフトマシン録画の接続・設定をする」26をご覧ください。
- タイムシフトマシン録画をする場合は、別売のタイムシフトマシン用動作確認済USBハードディスクをお使いください。

録画番組の自動削除について

● タイムシフトマシン録画番組は、録画用USBハードディスクの容量が足りなくなると、古い番組から順に自動的に削除されます。残しておきたい番組は、自動削除される前に、本機の通常録画用USBハードディスクに保存することをおすすめします。

本機で登録したことのあるUSBハードディスクを接続したとき

● タイムシフトマシン録画A、増設B端子または通常録画C端子に接続して登録したことがあるUSBハードディスクを再度接続する場合、前回登録した端子と違う端子に接続すると、別の端子での使用履歴があることをお知らせするメッセージが表示されます。その場合は、画面の指示に従って操作してください。ただし、登録し直した場合は、それまでに保存されていたデータや録画番組はすべて消去されます。

タイムシフトマシン録画A端子と増設B端子について

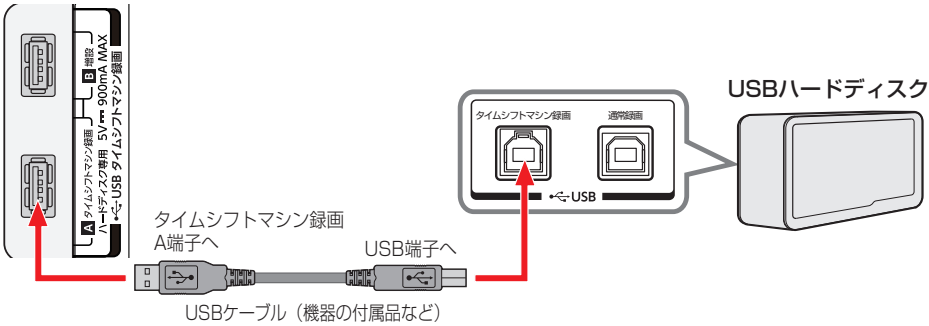
- タイムシフトマシン録画A端子に接続して登録するUSBハードディスクには、設定したチャンネルのタイムシフトマシン録画番組とタイムシフトマシン録画設定の情報が記録されます。
  増設B端子に接続して登録するUSBハードディスクは、録画A端子のハードディスクの増設用USBハードディスクになります。
  - タイムシフトマシン録画A端子と増設B端子の両方にUSBハードディスクを接続して登録すると、本機は二つのハードディスクの容量をたした一つのハードディスクとみなします。例えば、容量が１TBの2台のUSBハードディスクを、タイムシフトマシン録画A端子と増設B端子にそれぞれ接続すると、容量2TBの一つのハードディスクと認識されます。
    ※ タイムシフトマシン録画A端子と増設B端子の両方にUSBハードディスクを接続して使用するときは、必ず2台同時の登録操作 23 をしてください。
- タイムシフトマシン録画中に、録画A端子または増設B端子が認識できない状態（USBハードディスクの故障など）になると、タイムシフトマシン録画は中断されます。
- タイムシフトマシン録画は、接続して登録したUSBハードディスクがすべて接続されていないと働きません。

タイムシフトマシン録画用USBハードディスクを接続する

- 別売のタイムシフトマシン用動作確認済USBハードディスクは、タイムシフトマシン録画A端子と増設B端子に接続します。USB（AV周辺機器専用）端子、USB（通常録画）端子ではタイムシフトマシン録画・再生はできません。

ご注意

- USBハードディスクを接続するときは、必ず本機および接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。



※ タイムシフトマシン録画A端子と増設B端子は、USBハブを使った接続はできません。

ご注意

- タイムシフトマシン録画A端子と増設B端子の両方にUSBハードディスクを接続して使用する場合は、必ず2台同時にタイムシフトマシン録画用機器の登録操作（機能操作ガイド「録画機器を使う」》「手動でタイムシフトマシン設定をする」）を行ってください。
  タイムシフトマシン録画A端子にのみUSBハードディスクを接続して登録し、タイムシフトマシン録画を開始したあと、増設B端子にUSBハードディスクを接続して登録操作をすると、録画A端子に接続されているUSBハードディスクも登録し直されるため、ハードディスクが初期化され、それまで保存されていたデータや録画番組はすべて消去されます。

かんたんタイムシフトマシン設定をする

- 本機が未登録のUSBハードディスクを検出すると、「かんたんタイムシフトマシン設定」の画面が表示されます。
- 「かんたんタイムシフトマシン設定」を使用すると、ハードディスクの登録から録画の設定まで一連の設定を行うことができます。

1 「はい」を選ぶ

- 登録しないときは「いいえ」を選びます。

※「いいえ」を選んだ場合、USBハードディスクは「タイムシフト録画用機器の登録」の画面で「未登録」となります。「未登録」のUSBハードディスクは、「USBハードディスクの設定をする」の「タイムシフト録画用機器の登録」（機能操作ガイド「録画機器を使う」》「手動でタイムシフトマシン設定をする」）の操作であとから登録できます。

2 登録の確認画面で、「はい」を選ぶ

3 初期化の確認画面で、「はい」を選ぶ

- 登録の処理が始まります。終わると登録完了をお知らせする画面が表示されます。

4 画面の説明を読み、【決定】を押す

- タイムシフトマシン録画チャンネルの確認画面が表示されます。

5 録画するチャンネルを確認し、「次へ進む」を選ぶ

- 「録画チャンネルの変更」を選ぶと、タイムシフトマシン録画チャンネルの設定画面が表示され、設定を変更できます（機能操作ガイド「録画機器を使う」》「手動でタイムシフトマシン設定をする」）。

6 録画する時間帯を選ぶ

- 「お好み設定」を選んだ場合は、お好み設定画面が表示されます。（機能操作ガイド「録画機器を使う」》「手動でタイムシフトマシン設定をする」）。

7 「設定完了」を選ぶ

- かんたんタイムシフトマシン設定を終了します。

- 【設定】を押し、「タイムシフトマシン設定」⇒「かんたんタイムシフトマシン設定」からも設定できます。

録画機器を接続する

録画できる機器と番組

- 本機背面のUSB（通常録画）端子に接続した**USBハードディスク**および**レグザリンク対応の東芝レコーダー***にデジタル放送番組を録画できます（データ放送、ラジオ放送番組、外部入力（HDMI1 ～ 4、ビデオ入力）、クラウドサービスやネットワークサービスで視聴している動画配信サービスからの映像・音声は録画できません）。

* レグザリンク対応の東芝レコーダーの接続は 15 をご覧ください。

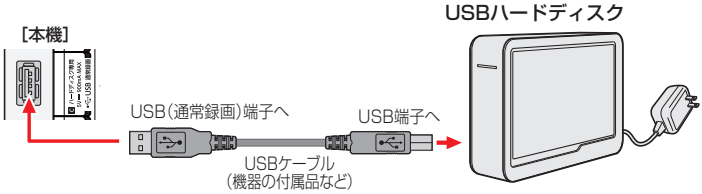
USBハードディスクの接続をする

ご注意

- パソコンや他のテレビ、録画機器などで使用していたUSBハードディスクを本機に接続して登録すると、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。
- 本機で使用していたUSBハードディスクをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際に、本機で録画した番組はすべて消去されます。
- 本機に接続したUSBハードディスクを取りはずす場合は、未登録の機器を含めて「USBハードディスクの設定をする」の「機器の取りはずし」（機能操作ガイド「録画機器を使う」》「USBハードディスクの設定をする」）の手順で操作してください。
- 本機にUSBバスパワー方式の機器を接続する場合は、必ず本機の電源を待機にし、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- USBハードディスクの動作中は、USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。録画した番組が消えたり、USBハードディスクが故障したりする原因となります。

USBハードディスクが1台のとき

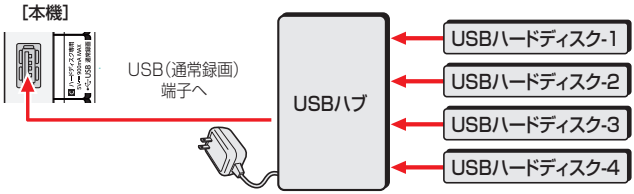
- USBハードディスクは、USB（通常録画）端子に接続します。



USBハードディスクが複数台のとき

- USBハブを使用すれば、複数のUSBハードディスクを接続することができます。

※ 8台までのUSBハードディスクを本機に登録できます。ただし、同時に接続できるのは4台までです。



お願い

- 複数の未登録USBハードディスクを接続した状態で本機の電源を入れると、不特定の順番で登録が始まります。
  USBハードディスクの登録名や接続場所などを特定しやすくするために、1台ずつ接続して登録の処理が終わったら次のUSBハードディスクを接続するようにしてください。
- 登録の手順については、「USBハードディスクを本機に登録する」をご覧ください。

お知らせ

- 複数台のUSBハブを経由して本機にUSBハードディスクを接続することはできません。
- 本機で接続確認済のUSBハードディスクとUSBハブについては、ホームページ(https://www.regza.com/support)をご覧ください。
- USBハードディスクやUSBハブは、ACアダプターを接続してご使用ください。周辺機器メーカーで確認されている機器については周辺機器メーカーにお問い合わせください。
- 接続確認済機器でも、すべての動作を保証するものではありません。

USBハードディスクを本機に登録する

- 本機が未登録のUSBハードディスクを検出すると、「機器の登録」の画面が表示されます。以下の手順で本機に登録します。

1 「はい」を選ぶ

- 登録しないときは「いいえ」を選びます。

※ 「いいえ」を選んだ場合、そのUSBハードディスクは「機器の登録」の画面で「未登録」となります。「未登録」のUSBハードディスクを登録する場合は、機能操作ガイド「USBハードディスクの設定をする」に記載の「機器の登録」の操作をしてください。

2 初期化の確認画面で、「はい」を選ぶ

- 登録の処理が始まり、終わると次の手順の画面が表示されます。

3 登録したUSBハードディスクを録画機器にする場合は、「はい」を選ぶ

- 録画や予約などでの録画機器の初期候補が、今登録したUSBハードディスクになります。

※ 録画機器は、録画や予約の際に変更することもできます。

- 【決定】を押したあと、説明画面が表示された場合は、画面の説明を読んでから【決定】を押します。

4 登録結果の内容を確認し、【終了】を押す

使用履歴のあるUSBハードディスクを接続したとき

- 本機に登録して使用し、登録を解除したUSBハードディスクを接続した場合、確認画面が表示されます。
- 確認画面で「はい」を選ぶと登録の処理が始まり、終わると登録機器のリスト画面が表示されます。

※ 再登録の場合、ハードディスクは初期化されません。

修理などで、本機内部のハードディスク登録情報記憶部が含まれる部分を交換した場合や、本機を交換した場合は、それまでに使用していたハードディスクは未登録(新しいハードディスク)として認識され、初期化して使用することになります。初期化の際に録画内容はすべて消去されます。

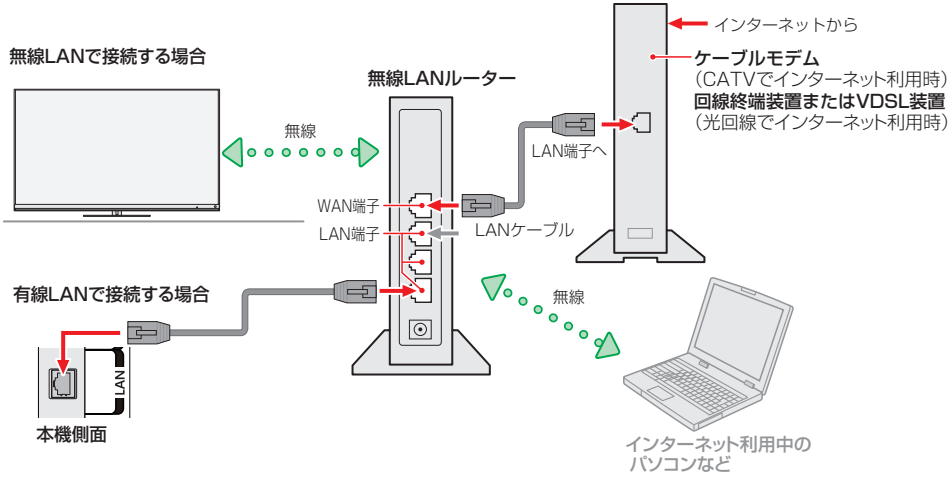
インターネットを利用するための接続をする

- はじめてインターネットを利用する場合は、通信事業者やプロバイダー（インターネット接続業者）との契約が必要です。通信事業者または取り扱いの電気店などにご相談ください。
- 接続方法でご不明な点は、裏表紙に記載の「東芝テレビご相談センター」にお問い合わせください。
- 接続が終わったら、必要に応じて「ネットワーク設定」（機能操作ガイド「インターネットを楽しむ」》「インターネットに接続するための設定」）をしてください。
- モデムとルーターが一体化されている場合もあります。それぞれの取扱説明書もよくお読みください。

本機をインターネットに接続したときにできること

できること	内　容
ネットワークサービス	● 動画配信サービスやクラウドサービスなどのネットワークサービスを楽しむことができます（機能操作ガイド「インターネットを楽しむ」》「クラウドサービス・ネットワークサービスを楽しむ」）。
データ放送の双方向サービス	● データ放送の双方向サービスを利用して、クイズ番組に参加したり、ショッピング番組で買物をしたりすることができます（機能操作ガイド「テレビを見る」》「データ放送やラジオ放送を楽しむ」）。 ※ 本機は電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません。
ソフトウェアの更新	● サーバーから本機の最新ソフトウェアをダウンロードすることができます35。

接続のしかた



ご注意

- LANケーブルを抜き差しするときは、本機および接続機器などの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お願い

- LANケーブルは、カテゴリ5（CAT5）と表示された規格以上のものをご使用ください。
- 本機のLAN端子は、必ず電気通信端末機器の技術基準認定品ルーターなどに接続してください。
- 通信事業者およびプロバイダーとの契約費用および利用料金などは、ご自身でお支払いください。
- 以下の場合やご不明な点は、ご契約の回線事業者やケーブルテレビ会社、プロバイダーなどにお問い合わせください。
  - ご契約によっては、本機やパソコンなどの機器を複数接続できないことがあります。
  - 一部のインターネット接続サービスでは、本機を利用できないことがあります。
  - プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
  - 回線の状況によっては、うまく通信できないことがあります。
  - モデムについてご不明な点など。

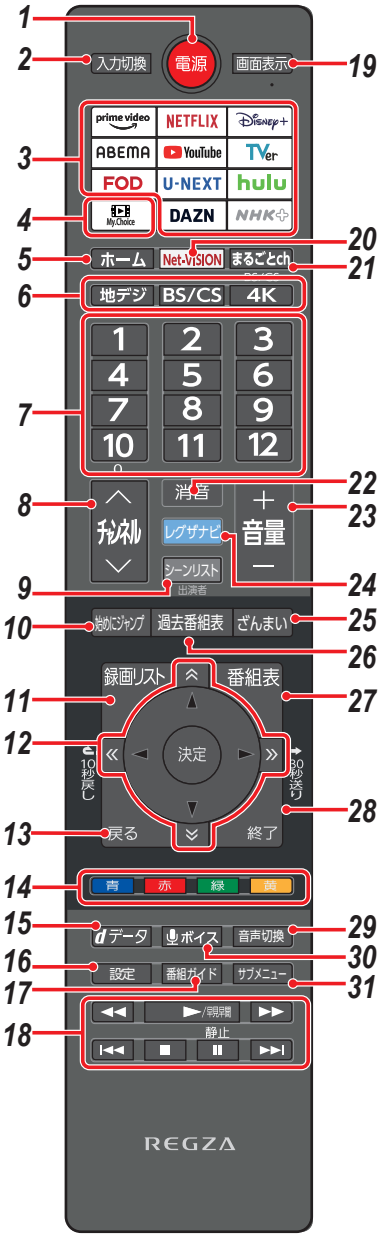
お知らせ

- 本機では、ルーターやルーター内蔵モデムの設定はできません。これらの機器によっては、パソコンでの設定が必要な場合があります。
- 本機はダイヤルアップ通信でインターネットを利用することはできません。
- この取扱説明書で図示していない機器が接続されている場合は、正常に通信できないことがあります。
- ルーターなどが正しく設定されていない回線に本機のLAN端子を接続すると、本機が正常に動作しないことがあります。

リモコンの準備をする

各ボタンの機能

● 本書に記載している操作で使用するリモコンのボタンと、そのおもな機能は以下のとおりです（ボタンによっては、通常の操作と異なる使い方をすることがあります）



1. 本機の電源を待機/入します。
2. 接続した外部入力機器の画面に切り換えます。
3. 動画配信サービスの画面に切り換えます。
4. 外部入力や動画配信サービスなどを登録しておくと、登録した機能に切り換えられます。
5. ホーム画面を表示します。
6. 放送の種類を切り換えます。
7. チャンネルを切り換えます。文字や数字を入力するときに使用します。
8. テレビのチャンネルを順番に切り換えます。
9. シーンリストや出演者のリストを表示します。
10. 再生番組の始めにジャンプします。
11. USBハードディスクに録画した番組のリストを表示します。
12. メニューや番組表などで項目を選択/決定するとき、文字や数字を入力するときに使用します。メニューや番組表などでページを切り換えるときに使用します。
13. 前の操作に戻ります。
14. 画面に表示された各種機能が割り当てられています。
15. データ放送に切り換えます。
16. 設定メニューを表示します。
17. 番組ガイドを表示します。
18. 録画した番組や接続した機器の再生や操作を行います。
19. 視聴中の放送や外部入力の情報を表示します。
20. Net-VISIONの画面に切り換えます。
21. まるごとチャンネル画面を表示します。
22. 音を一時的に消します。
23. 音量を調節します。
24. レグザナビ画面を表示します。
25. ざんまいスマートアクセスの画面を表示します。
26. タイムシフトマシン録画の過去番組表を表示します。
27. 番組表を表示します。
28. 操作を終了します。
29. 複数音声の番組で音声を切り換えます。
30. ボイス機能を使用します。
31. サブメニューを表示します。

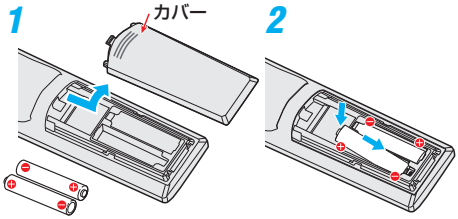
乾電池を入れる

- 単四形乾電池を2本ご使用ください。お買い上げ時は単四形乾電池が2本付属されています。

1 電池カバーをはずす
- カバーを下方向に押しながら下げてから、電池カバーを取りはずします。

2 乾電池を入れる
- 極性表示⊕と⊖を確かめて、間違えないように入れます。

3 電池カバーを閉める
- カバーをはずしたときと逆の手順で閉め、パチンと音がするまでカバー上部を押し込みます。



リモコンを登録する（ペアリング）

- 本機のリモコンは、Bluetooth®通信に対応しています。リモコンを本機に登録すると、本機とリモコンの通信はBluetooth®無線技術で行われますので、リモコンをテレビ本体のリモコン受光部に向けることなく操作することができます。

1 【設定】を押し、「省エネ・その他の設定」⇨「詳細機能設定」⇨「リモコン設定」⇨「リモコンの登録」の順に進む

2 画面の説明に従って、登録する

- 登録は、リモコンをテレビ本体に近づけて行ってください。
- リモコンの電池残量が少ない時や、電波環境によって正しく登録できないことがあります。
- ボイス機能は、リモコンが登録されている場合のみご利用いただけます。
- リモコンの登録を行わない場合でも、ボイス機能以外のリモコン操作をすることができます。（その場合は赤外線通信でリモコンコードが送信されます。）
- 1台のテレビには、一つのリモコンが登録できます。
- 本機に登録したリモコンは、本機の電源が「入」の状態では本機以外のテレビを操作することができません。
- Bluetooth®通信は2.4GHz帯の無線を使用します。他の無線機器との間で電波干渉が発生し、本機を操作できない場合があります。（詳しくは「本機の無線LAN/Bluetooth®を使う際のお願い」をご確認ください38。）
- 電波干渉が発生する場合、電波環境を見なおしていただくか、リモコンの登録を解除してご利用ください（機能操作ガイド「リモコンの登録を解除する」）。

ご注意

- **本機の電源が「待機」の状態ではBluetooth®通信ができないため、赤外線通信でリモコンコードを送信します。テレビ本体のリモコン受光部にリモコンを向けて操作してください。**

リモコンのLEDについて

- 本機のリモコンにはリモコン信号の送信状態を通知するためのLEDがついています。
- 本機とリモコンの通信をBluetooth®通信で行う場合、リモコンのLEDが青色に点滅します。
- 赤外線通信で行う場合、赤色に点滅します。

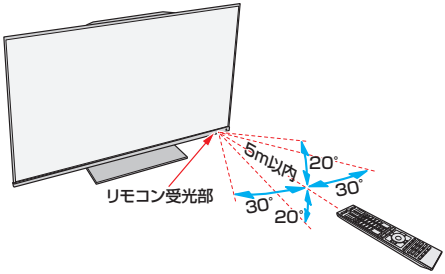
赤外線通信のリモコンコードについて

- 赤外線でリモコン信号を送信する場合、リモコンコードの切換ができます（機能操作ガイド「設定・調整をする」》「2台以上のレグザをそれぞれのリモコンで操作する」）。
- お買い上げ時は「リモコンコード1」に設定されています。

※「リモコンコード2」、「リモコンコード3」に設定して使用していた場合、電池交換などでリモコンから乾電池を取りはずすと「リモコンコード1」に戻ることがありますので、ご確認ください。

赤外線通信時のリモコンの使用範囲について

- リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて使用します。
- 電源が「入」のときに、リモコンで操作をすると、本体前面のLEDが白色に点滅します。
- リモコン受光部に強い光を当てないでください。リモコンが動作しないことがあります。
- リモコン受光部とリモコンの間に障害物を置かないでください。動作しなかったり、動作しにくくなったりします。
- リモコン受光部から
  距離 5m以内
  角度 左右30°以内、上下20°以内



※ リモコン発光部は二箇所あり、リモコンを立てた状態でも操作できます。

ご注意

■ リモコンの取り扱い

- 落としたり、振りまわしたり、衝撃などを与えたりしないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。
- 分解しないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。

お願い

■ 乾電池について

- 乾電池の寿命はご使用状態によって変わります。リモコンが動作しにくくなったり、操作できる距離が短くなったりしたら2本とも新しい乾電池と交換してください。
- 使用済の乾電池は、地方自治体またはお住まいの地域で定められた規則に従って廃棄してください。

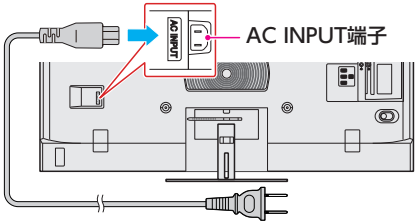
電源を入れる

電源を入れる

1 付属の電源コードのコネクターを本機背面のAC INPUT端子に接続する

- 奥までしっかりと差し込みます。

※ 電源コードを差し込む際は本体を倒さないよう注意してください。

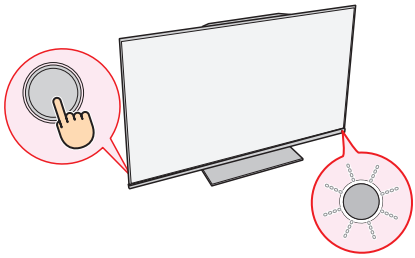


2 電源プラグをコンセントに差し込む

- 電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込んでください

3 本体背面の本体ボタンの中央部、またはリモコンの(電源)を押す

- 電源が「入」になり、本体前面の電源表示が**白色**に点灯します。



「電源」表示

お知らせ

- 「電源」以外の下記ボタンでも電源を入れることができます。ただし、本機の状態によってはこれらのボタンが効かない場合があります。
  - ネット動画ボタン
  - 数字ボタン
  - チャンネル∧／∨

電源を「待機」にする

❶ 電源が「入」のときに、本体背面にある本体ボタンの中央部、またはリモコンの(電源)を押す

- 電源が「待機」(リモコン操作待受状態)になり、「電源」表示が**赤色**に点灯します。

お願い…電源プラグの取り扱いについて

普段はコンセントに差し込んでおく

- 電源プラグは、非常時や機器の接続、お手入れなどをするとき以外はコンセントに差し込んでおいてください。

※ **電源プラグを抜いたままにしておくと…**
  - デジタル放送の番組情報が取得できません。
  - 予約した番組の録画ができません。

電源プラグをコンセントに差し込んでおけば、予約した番組の録画は、電源が「待機」の場合でも行われます。

電源プラグを抜くときは

- **非常の場合は、速やかに電源プラグをコンセントから抜いてください。**
- 外部機器の接続や取りはずし、本体や電源プラグのお手入れ、周辺の清掃などで電源プラグを抜く場合は、その前に以下の確認をしてください。

❶ タイムシフトマシン録画をするように設定している場合は、「タイムシフトマシン録画」を「しない」に設定する

❷ 【画面表示】を押して、録画中やダビング中、タイムシフトマシン録画の実行中の表示が出ないことを確認する

❸ 予約リストを表示させて、電源プラグを抜いている間に実行される録画予約がないことを確認する

❹ 本体背面にある本体ボタンの中央部を押して電源を待機にする

「はじめての設定」をする

「はじめての設定」について

※「電波の状態が良くありません。」のメッセージが表示されたときは、受信状態が良くなってから「はじめての設定」をやり直してください。

はじめての設定

はじめて電源を入れたときに、「テレビをお使いになる場所を選んでください」画面が表示されます。テレビをお使いになる場所を選びます。
場所を選択すると、「リモコンの登録をおこないます」画面が表示されます。

- 画面の指示に従って、リモコンで設定を行ってください。

1 **地域設定**
- お住まいの地域に密着したデータ放送（たとえば、地域の天気予報など）や緊急警報放送を視聴できるようになります。

2 **地上デジタルチャンネル設定**
- 地上デジタル放送のチャンネルを設定します。

3 **BS・110度CSアンテナレベル確認**
- 衛星放送の電波の強さを確認します。

4 **映像メニュー設定**
- 本機にはいくつかの「映像メニュー」が用意されています。メニューを選択したときに表示される画面の説明を読んで、お好みの映像メニューに設定してください。

5 **ネットワーク設定**
- 本機をネットワークに接続し、ネットワーク機能を利用する場合に設定します。先に設定だけを済ませ、接続はあとから行うこともできます。

有線LANの設定をする

❶ **「有線LAN」を選ぶ**
- ❸へ進みます。

無線LANの設定をする

❶ **「無線LAN」を選ぶ**
- アクセスポイント選択画面が表示されます。

❷ **次のどれかの方法でアクセスポイントを設定する**
・アクセスポイント選択
・プッシュボタン接続
- 接続する無線LANアクセスポイント（ルーター）に合わせて、設定方法を選びます。
- お使いの無線LANアクセスポイント（ルーター）の取扱説明書も、お読みください。

❸ **接続テストをする場合は「はい」を選ぶ**
- 「接続テスト」をしない場合は、「いいえ」を選んで「ネット配信コンテンツを高画質で視聴しますか？」の確認画面に進みます（必要になったときに「インターネットに接続するための設定をする」（機能操作ガイド「インターネットを楽しむ」》「インターネットに接続するための設定をする」）の操作をしてください）。
- 「接続できませんでした。」と表示された場合、有線LAN設定のときは、LANケーブルの接続を確認してから再度接続テストをしてください。
  無線LAN設定のときは、無線LANの設定を確認してから、再度接続テストをしてください。

❹ **「インターネットに接続できました。」と表示されたら、【決定】を押す**
- 「モバイル機器から本機の電源を入れられるようにしますか？」の確認画面が表示されます。

❺ **「はい」または「いいえ」を選ぶ**
- 「はい」にすると、テレビが待機中の時にモバイル機器からの操作で電源を「入」にして、モバイル機器で再生中のコンテンツをテレビで再生したり、モバイル機器の画面をミラーリングしたりできるようになります。
  ※「はい」にすると、待機中の消費電力が増えます。
- 「ネット配信コンテンツを高画質で視聴しますか？」の確認画面が表示されます。

❻ **「はい」または「いいえ」を選ぶ**
- 「はい」にすると、視聴環境に合わせて、ネット動画の映像が自動的に調整されます。
- 「ネットワーク設定」が終わると、「REGZAの機能紹介」の画面が表示されます。

6 サービス利用設定

- インターネットに接続して、クラウドサービスなどのネットワークサービスを利用するには、「レグザプライバシーポリシー」を「同意する」に設定します。

※クラウドサービスの開始には、ソフトウェアの更新が必要になる場合があります。

❶ 画面のサービス紹介を確認する

- ネットワークサービスに関する紹介が表示されます。【決定】を押すと先に進みます。

❷ レグザプライバシーポリシー画面の内容を最後まで読み、「同意する」または「同意しない」を選ぶ

- 「同意しない」を選んだ場合は、設定終了画面が表示されます。【決定】を押すと「はじめての設定」を終了します。
- 「同意しない」を選んだ場合は、レグザナビ、番組ガイドなどの機能の一部が使用できません。

❸ アンケートの内容を読み、項目を選ぶ、もしくは数字ボタンで入力して【決定】を押す

- 「0」は【10】で入力します。
- 間違えて入力したときは、◀を押してカーソルを戻してからもう一度入力します。
- アンケートに答えると、設定終了画面が表示されます。【決定】を押すと「はじめての設定」を終了します。

「はじめての設定」をやり直すとき

- 「はじめての設定」をしてもアンテナ接続の不具合などで地上デジタル放送が映らなかった場合は、不具合の対処をしたあとで、「はじめての設定」をやり直すことができます。

※ ワンタッチ選局ボタンのチャンネル設定を手動でお好みに設定したあとで「はじめての設定」をやり直すと、手動で設定した内容が消去されます。その場合は、もう一度チャンネルボタン設定をしてください。

※ データ放送を視聴している状態で「はじめての設定」をやり直した場合、放送によっては設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されません。設定終了後に再度データ放送を選局してください。

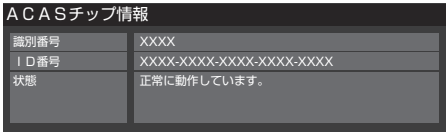
ACAS チップ情報を確認する

- ACASチップの状態やID番号などをテレビ画面で確認することができます。
- ACASチップは、新しいCASの方式です。本機には、この新CASのプログラムを書き込んだ「ACASチップ」が搭載されています。

※ **ACASチップには、これまでのB-CASカードの機能も含まれています(B-CASカードは付属していません)。**

1 【設定】を押し、「放送受信設定」⇨「ACASチップ情報」の順に進む

- ACASチップの情報が表示されます



2 情報を確認したら、【戻る】を押す

ACASチップID番号記入欄

- 下欄にACASチップのID番号を記入しておくと、有料放送のご契約やお問い合わせの際などに役立ちます。

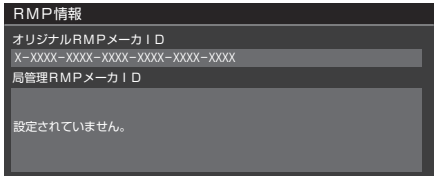
ACASチップ

RMP 情報の確認

- 本機は、タイムシフトマシン用にコンテンツ権利保護専用方式※を採用しています。コンテンツ保護専用方式のID番号は、以下の操作で確認することができます。

※ コンテンツ保護専用方式では、ACASチップは使用せず、ソフトウェアでスクランブル解除を行います。

1 【設定】を押し、「放送受信設定」⇨「RMP情報」の順に進む



2 情報を確認したら、【戻る】を押す

ソフトウェアを更新する

ソフトウェアの更新機能について

- 本機は、内部に組み込まれたソフトウェア(制御プログラム)で動作するようになっています。
- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、ソフトウェアを更新する場合があります。
- 更新用のソフトウェアはBSデジタルや地上デジタルの放送電波で送られてきます。本機は、放送電波で送られてくる更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新する機能を備えています。
  ネットワークに接続している場合は、ネットワーク経由でソフトウェアを自動的にダウンロードし、更新することもできます。
- ソフトウェアダウンロード情報をホームページ(https://www.regza.com/support)でお知らせしています。
  - 放送電波を利用したソフトウェアのダウンロードは、都度、限られた日時に行われます。
- 電源プラグが抜かれていたなどの事情で自動ダウンロードができなかった場合は、都合のよいときにインターネットを利用してサーバーから更新用のソフトウェアを入手することができます。
- ソフトウェアの更新中は電源プラグを抜かないでください。
  ソフトウェアの更新が正常に行われず、本機が起動しなくなるおそれがあります。

ソフトウェアのバージョンアップによる機能追加

- 本機では、ソフトウェアのバージョンアップにより機能が追加される場合があります。
  ソフトウェアが更新されると、追加機能が利用できるようになります。
  バージョンアップ用ソフトウェアについては、ホームページ(https://www.regza.com/support)でお知らせしています。

ソフトウェアの自動ダウンロードについて

- 「自動ダウンロード」の設定を「する」(お買い上げ時の設定)にしておき、日常的にデジタル放送を視聴し、視聴しないときにも電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておけば、特別に意識する必要はありません。
  放送電波やネットワーク経由での更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新することができます。
  更新用のソフトウェアがある場合は、ダウンロード情報が放送電波で送られます。本機は、地上デジタル放送またはBSデジタル放送を視聴しているときにダウンロード情報を取得します(情報を確認する操作はありません)。
  放送を受信していなくても、ネットワークに接続していれば、自動的にソフトウェアの更新を行います。

自動ダウンロードの設定を変更する

1 **【設定】を押し、「省エネ・その他の設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「自動ダウンロード」の順に進む**

2 **「する」または「しない」を選ぶ**
- 【青】を押すと、放送電波でのダウンロード予定を一覧で確認することができます。
- 手動でソフトウェアの更新をすることもできます。

最新ソフトウェアの自動確認の設定を変更する

- 本機の電源をオンしたときにサーバーに新しいソフトウェアがあるかどうかを確認して、画面上に通知することができます。

1 **【設定】を押し、「省エネ・その他の設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「最新ソフトウェアの自動確認」の順に進む**

2 **「する」または「しない」を選ぶ**

ご注意

- 「自動ダウンロード」が「する」になっている場合は設定できません。

サーバーから手動でダウンロードする

- インターネットを利用してサーバーからソフトウェアをダウンロードし、本機内部のソフトウェアを更新することができます。
- インターネットへの接続と設定が必要です。

1 【設定】を押し、「省エネ・その他の設定」⇨「ソフトウェアのダウンロード」⇨「ソフトウェアの更新」の順に進む

- 新しいソフトウェアがある場合、更新の確認画面が表示されます。

※ 新しいソフトウェアのダウンロード中の場合は、ダウンロードの進捗が表示されます。

2 「今すぐ更新」、または「電源オフのときに更新」を選ぶ

ソフトウェアのバージョンを確認するには

1 【サブメニュー】を押し、「その他の操作」⇨「本機の情報」の順に進む

- 【設定】⇨「省エネ・その他の設定」⇨「本機の情報」でも確認できます。

使用上のお願いとご注意

取り扱いについて

- 本機をご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。
- 引越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動を与えないでください。
- 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 電源プラグは非常時と長期間ご使用にならないとき以外は、常時コンセントに接続してください(番組情報を取得するためです)。
- 畳の上に置かないでください。金属部が直接畳に触れていると、さびが出たり、畳表に穴があいたりする可能性があります。
- 本機の近くにキャッシュカードなどの磁気カードやビデオテープなどを置かないでください。本機から出る磁気の影響でデータや録画内容などが損なわれる可能性があります。
- 本機から「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。
- 外部入力(ビデオ入力、HDMI入力1 ～ 4)の映像や音声には若干の遅れが生じます。以下の場合にはこの遅れによる違和感があることがあります。
  - ゲーム、カラオケなどを接続して楽しむ場合
  - 外部機器の音声を直接オーディオ機器に接続して視聴する場合
- 電源起動時にパネルの調整を行うため、映像が表示されるまでに時間がかかります。

電源プラグをコンセントから抜く際のご注意

- 電源プラグをコンセントから抜いたり、コンセントの元につながっているブレーカーを落としたりする際は、以下の手順で行ってください。

❶ タイムシフトマシン録画をするように設定している場合は、「タイムシフトマシン録画」を「しない」に設定する
❷ 【画面表示】を押して、録画中やダビング中、タイムシフトマシン録画の実行中の表示が出ないことを確認する
❸ 予約リストを表示させて、電源プラグを抜いている間に実行される録画予約がないことを確認する
❹ 本体背面にある本体ボタンの中央部を押して電源を待機にする
❺ 電源プラグをコンセントから抜く

遠隔操作について

- リモコン、またはレグザAppsコネクトなどを利用してスマートフォンやタブレットPCからテレビを操作するときは、本機が見える位置から操作してください。

4K映像の表示について

- 本機はBS・110度CSの4K放送に対応しています。
- HDMIの4K入力については、すべての4K入力映像の表示を保証するものではありません。

録画・録音について

- 本機に接続した機器に録画・録音する際は、事前に試し録画・録音をして、正しくできることを確かめておいてください。
- 本機に接続した機器を録画・録音した内容の長期保存として使用しないでください。あくまでも一時的な保存・再生機能としてご使用ください。
- 著作権保護のため、コピーが禁止されている番組は録画をすることはできません。また、著作権保護のため、1回だけ録画が許された番組は、録画した番組をさらにコピーすることはできません。

- あなたが録画・録音したものは、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。録画・録音したものを個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内で楽しむ以外に権利者の許諾なく、複製・改変したり、インターネットなどで送信・掲示したりすることは著作権法上禁止されています。以下の行為なども、原則として著作権法上保護された権利を侵害することになりますのでご注意ください。
  - 録画した番組を自分のホームページで見られるようにする。
  - 録画した番組をメールやメッセンジャーサービスなどで他人に送る。
  - 番組を録画したビデオテープやディスクなどの媒体を営利の目的で、または不特定もしくは多数の人に貸す。

  著作権法に違反すると刑事処罰を受ける場合もありますので自己責任のもとでご利用ください。

本機の無線LAN/Bluetooth®を使う際のお願い

- 本機は、日本国の電波法に基づく無線設備（無線LAN/Bluetooth®）を内蔵しています。
- 本機に搭載されている無線設備は、日本国内専用です。海外で使用することはできません。
- 無線LANの2.4GHz帯とBluetooth®は同じ周波数帯を使用するため、同時に使用すると、電波が干渉し合い通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いの無線LANを5GHz帯に設定してお試しください。
- 本機の無線LANおよびBluetooth®が使用する周波数帯は、それぞれ2.4GHz帯/5GHz帯と2.4GHz帯ですが、他の無線機器も同じ周波数を使用している場合があります。本機の内蔵無線LANやBluetoothを使用する際は、他の無線機器との間で電波干渉が発生しないように、以下の注意事項に留意してください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、東芝テレビご相談センターへお問い合わせください。

連絡先：東芝テレビご相談センター

【一般回線・PHSからのご利用は】
フリーダイヤル（通話料：無料）
0120-97-9674

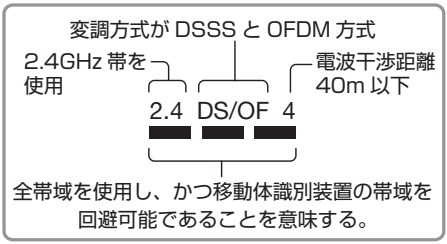
【携帯電話からのご利用は】
ナビダイヤル（通話料：有料）
0570-05-5100

※ IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、
03-6830-1048（通話料：有料）

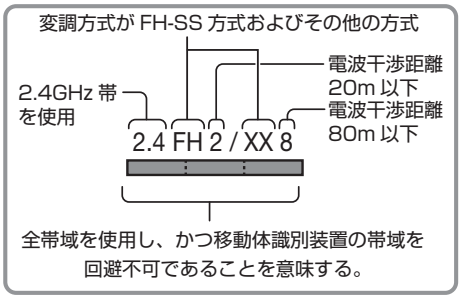
- 5GHz帯のW52、W53の電波を使用して、屋外で通信しないでください。5GHz帯のW52、W53の無線設備を屋外で使用することは、法令で禁止されています。屋外で本機の無線LANを使用する場合は、5GHz帯のW56を使用するか、または2.4GHz帯をご使用ください。

● 本機の定格銘板に記載されている周波数表示は、以下の内容を示しています。

- **無線LAN：**



- **Bluetooth®：**



● 本機の無線LANは、以下の規格に対応しています。無線LANアクセスポイントも、この規格に対応した製品をお使いください。

IEEE802.11b/g/n			
IEEE802.11a/n/ac			
~~J52~~	W52	W53	W56

規格		チャンネル	周波数帯（中心周波数帯）
IEEE 802.11 b/g/n		1～13	2.412～2.472GHz
IEEE 802.11 a/n/ac	W52	36,40,44,48	5.18～5.24GHz
	W53	52,56,60,64	5.26～5.32GHz
	W56	100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140	5.50～5.70GHz

※ 本機は従来の無線規格であるJ52には対応していません。

● 無線LANの性能や環境条件による影響など：
無線LANのデータ転送速度は、通信距離・障害物などの環境条件、電子レンジ等の電波環境要素、ネットワークの使用状況などに影響されます。

- 本機はIEEE802.11a/b/g/n/acの規格に準拠していますが、すべての無線LAN機器との接続や通信を保証するものではありません。
- 5GHz帯に対応している無線LANアクセスポイントをお使いの場合は、5GHz帯でのご使用をおすすめします。

● 本機の近くに無線LANアクセスポイントが設置されていると、アクセスポイント選択の一覧に表示されない、電波強度が弱く表示される、あるいは接続に失敗する場合があります。このような現象が発生した場合、本機と無線LANアクセスポイントを離してお試しください。また、無線LANアクセスポイントの送信強度を下げることで改善できる場合もあります。

● 本機のBluetooth®は、以下の規格を使用しています。
規格：
Bluetooth Specification Ver.4.2
周波数帯　　：2.4GHz帯

● Bluetooth®の性能や環境条件による影響など：

- Bluetooth®は、通信距離・障害物などの環境条件、電子レンジなどの電波環境要素、無線ネットワークの使用状況などに影響されます。
- 本機は、USB接続のBluetooth®アダプターには対応していません。本機のUSB端子にUSB接続のBluetooth®アダプターを接続した場合、内蔵のBluetooth®が正常に動作しなくなる場合があります。

無線LAN製品ご使用におけるセキュリティに関するご注意

- 無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りをするため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続ができるという利点があります。
  その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定をしていない場合、以下のような問題が発生することがあります。
  - **通信内容を盗み見られる**
    悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
    IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人
    情報メールの内容
    などの通信内容を盗み見られるおそれがあります。
  - **不正に侵入される**
    悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークにアクセスし、
    個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
    特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す
    （なりすまし）
    傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
    コンピューターウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）
    などの行為をされてしまうおそれがあります。
- 本来、無線LAN製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。
  セキュリティの設定をしないで使用した場合の問題を十分に理解した上で、お客様自身の判断と責任でセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをおすすめします。

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 「すべての初期化」（機能操作ガイド「設定・調整をする」》「お買い上げ時の設定に戻すには」）で、暗証番号や双方向サービスの情報（住所・氏名、ポイント数などの利用者個人の情報）、ネットワークサービスの登録情報なども含めて、初期化してください。
- **廃棄時にご注意ください**
  家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

免責事項について

- 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は関与いたしません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、当社に故意または重過失ある場合を除き当社は責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は関与いたしません。
- 本機に接続した機器に正しく記録（録画、録音など）できなかった内容または変化・消失した内容の補償、および付随的な損害に関して、当社に故意または重過失ある場合を除き当社は責任を負いません。大切な番組の録画・録音には、本機との組み合せによらない録画・録音機器を併用することをおすすめします。
- 他の接続機器との組み合せによる誤動作や動作不能、誤操作などから生じた損害（録画機器などの故障、録画内容の変化・消失など）に関して、当社に故意または重過失ある場合を除き当社は責任を負いません。
- 誤操作や、静電気などのノイズによって本機に記憶されたデータなどが変化・消失することがあります。
- 故障・修理のときなどに、データ放送の双方向サービスなどで本機に記憶された利用者の登録情報やポイント情報などの一部あるいはすべてが変化・消失した場合の損害や不利益について、当社に故意または重過失ある場合を除き当社は責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

注意

■ **お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く**
感電の原因となることがあります。

お手入れの際のご注意

ベンジン・アルコールなどは使わない

- ベンジン・アルコールなどの揮発性のもののほか、アセトンなどケトン類やキシレン、トルエンなどの溶剤は使わないでください。キャビネットや画面(液晶パネル)が溶けたり、破損したりするおそれがあります。
- クレンザーなど、研磨剤が含まれた洗剤は使わないでください。表面が傷つきます。

化学ぞうきんやウェットタイプのクリーニングクロス/クリーニングペーパーなどは使わない

- 含まれている成分によっては、キャビネットや画面の表面が溶けたり、破損したりするおそれがあります。

水やスプレータイプの洗剤などを直接かけない

- 洗剤などの液体がテレビの内部に垂れたり、しみこんだりすると、故障の原因になります。

ぬれた手でお手入れをしない

- ぬらした布などを絞ってお手入れをするときは、手についた水滴をよくふき取ってください。水滴がテレビの内部に垂れたり、しみこんだりすると、故障の原因になります。

画面のお手入れは特にやさしく

- 画面の表面は樹脂でできています。固い布や紙でふいたり、強くこすったりすると表面が傷つき、映像の品位が低下します。やさしくふくようにしてください。
- 画面の内面はガラスでできています。たたいたり、押したりして力を加えると、画面が割れてテレビが見られなくなってしまいます。やさしく取り扱ってください。

※ ふだん、小さなお子様などが画面に触れたり、たたいたりしないようにご注意ください。

キャビネットと画面のお手入れ

1 キャビネットや画面に付着しているゴミ、ホコリを払う

- 柄つきの柔らかいモップなどで、やさしく払ってください。

※ ゴミやホコリがついたままでふいたり、こすったりすると、表面が傷ついてしまいます。

2 乾いた脱脂綿または柔らかい布(綿、ガーゼなど)でやさしくふき取る

汚れが落ちにくいときは

- 水で1000倍程度に薄めた中性洗剤(中性洗剤1ミリリットルあたり1リットルの水で薄める)に脱脂綿または柔らかい布を浸してから固く絞り、汚れをやさしくふき取ってください。そのあと、乾いた脱脂綿または柔らかい布で水分をふき取ってください。

※ 手に水滴がついているときは、テレビに触れる前にふき取ってください。
※ 洗剤が濃いと画面などに残ってしまいます。その場合は、水だけで固く絞った脱脂綿または柔らかい布でやさしくふき取ってください。
※ 画面をぬらしたまま放置しないでください。吸湿劣化やシミの原因になることがあります。水分が残っているときは、乾いた脱脂綿または柔らかい布でやさしくふき取ってください。

3 お手入れのときや、お手入れなどで画面の向きを変える際に、画面とキャビネットの隙間に液体や異物を入れないように注意してください。
また、画面のみを押したり、引っ張ったりしないように注意してください。

こんな場合は故障ではありません

悪天候でのBS・110度CSデジタル放送の受信障害

- 降雨や降雪などで電波が弱くなったときには、映像にノイズが多くなったり、映らなくなったりすることがあります。
  - ・大雨が降っている
  - ・大雪が降っている
  - ・アンテナに雪が積もっている

  など
- 天候が回復すれば正常に映るようになります。

本機内部からの動作音

- 電源待機時に番組情報取得などの動作を開始する際、「カチッ」という音が聞こえることがあります。
- 「ジー」という液晶パネルの駆動音が聞こえることがあります。

キャビネットからの「ピシッ」というきしみ音

- 「ピシッ」というきしみ音は、部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。

使用していないのに温まる

- 使用していない場合でも、番組情報取得などの動作をしているときなどは、本機の温度が多少上昇します。

背面キャビネットからのにおい

- ご購入から間もない時期は、使用時の本機の温度上昇によって、ごく稀にプラスチックの成型後に発生する樹脂臭を感じることがありますが、しばらくご使用いただくことで解消されます。
  煙が出るなどの異常がなければ心配ありません。

症状に合わせて解決法を調べる

- テレビが正しく動作しないなどの症状があるときは、以降の記載内容および機能操作編の「症状に合わせて解決法を調べる」から解決法をお調べください。
- 解決法の対処をしても症状が改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、「東芝テレビご相談センター」にご相談ください。

テレビが操作できなくなったときーテレビをリセットする

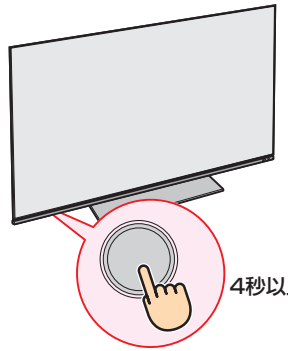
- リモコンでもテレビの本体ボタンでも操作できなくなった場合は、以下の操作をしてみてください。

電源プラグを抜いてリセットする

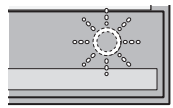
1. 電源プラグをコンセントから抜く
2. 1分間以上待つ
3. 電源プラグをコンセントに差し込んで、電源を入れる

本体ボタンを長押ししてリセットする

1. 本体ボタンの中央部を4秒以上押し続ける



2. 本体前面の「電源」の表示ランプが点滅したら、本体ボタンから手を離す



- しばらくすると電源が「入」になり、画面に「リセット機能により、再起動しました。」が表示されます。

ライセンスおよび商標などについて

- Dolby ATMOS　Dolby AUDIO　Dolby VISION IQ

  この製品はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、Dolby Vision、Dolby Atmos、Dolby Audio、Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、Dolby Vision IQ、及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。非公開機密著作物。著作権 1992-2022年ドルビーラボラトリーズ。不許複製。

- ACCESS™　NetFront®

  本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。
  ACCESS、NetFrontは、日本国およびその他の国における株式会社ACCESSの商標または登録商標です。
  ⓒ 2009 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

- HDMI®
  HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

  HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという語、HDMIのトレードドレスおよび HDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

- eilex PRISM　VIR FILTER　eilex FOCUS

  この製品はEilex International, LLCからの実施権に基づき製造されています。EilexPRISM、VIR Filter、Eilex Focus、Eilex HD RemasterはEilex International, LLCの商標です。

- AMD FreeSync Premium

  ⓒ 2020 Advanced Micro Devices, Inc. All rights reserved. AMD and FreeSync and combinations thereof are trademarks of Advanced Micro Devices, Inc.

- Bluetoothは米国内におけるBluetooth SIG,Inc.の登録商標または商標です。
- 「Netflix」はNetflix, Inc.の商標です。
- Blu-ray Disc™(ブルーレイディスク)、Blu-ray™(ブルーレイ)はブルーレイディスク アソシエーションの商標です。
- YouTube および YouTube ロゴは、Google LLC の商標または登録商標です。
- Amazon、Prime Videoおよび関連する全てのロゴはAmazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
- Apple、AirPlay、HomeKit、iPad、iPhone、Macは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。商標「iPhone」は、アイホン株式会社の許諾を受けて使用しています。
- その他、取扱説明書に記載されている社名・商品・サービス名などは、それぞれ各社が商標として使用している場合があります。
- 本製品の一部分に Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- この製品に含まれているソフトウェアをリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。
- AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE

  THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERACTION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA,L.L.C. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM

- This product contains technology subject to certain intellectual property right of Microsoft. Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.
  PlayReady end user notice
  Content owners use Microsoft PlayReady™ content access technology to protect their intellectual property, including copyrighted content. This device uses PlayReady technology to access PlayReady-protected content and/or WMDRM-protected content. If the device fails to properly enforce restrictions on content usage, content owners may require Microsoft to revoke the device's ability to consume PlayReady-protected content. Revocation should not affect unprotected content or content protected by other content access technologies. Content owners may require you to upgrade PlayReady to access their content. If you decline an upgrade, you will not be able to access content that requires the upgrade.
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)
- This product has used the FreeType code.

本製品のご利用に関する重要なお知らせ

ソフトウェア等利用規約

はじめに

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の利用を開始される前に、必ずこのソフトウェア等利用規約(以下、「本規約」といいます。)をお読みください。なお、お客様(以下、「利用者」といいます。)による本製品の利用開始をもちまして、本規約の内容を十分にご理解いただき、また本規約の内容に同意したものとさせていただきます。

本規約は、利用者とＴＶＳ ＲＥＧＺＡ株式会社(以下、「当社」といいます。)との本製品又は本製品に含まれるソフトウェア(当社が利用許諾を受けている第三者(以下、「原権利者」といいます。)のソフトウェアを含みますが、これに限られません。なお、本規約とは別のソフトウェア利用条件が定められているソフトウェアも本製品に含まれますが、このようなソフトウェアの利用条件に関しては後述します。本製品に含まれるソフトウェアを、以下、「本ソフトウェア」といいます。)の利用に関する条件について規定する契約です。なお、本規約は、これらに加え、本製品に同梱される印刷物やオンラインで提供される情報も対象としております。

万が一、本規約にご同意いただけない場合、本製品に含まれるソフトウェア又はコンテンツサービス(以下、「本ソフトウェア等」といいます。)をご利用いただくことはできませんので、本製品の利用を開始する前に本製品の返品等について、当社までお問い合わせ下さい。また、当社の提供するコンテンツまたはコンテンツサービス(以下、「当社サービス」といいます。)に関するプライバシーポリシー(以下、「当社プライバシーポリシー」といいます。)に同意いただけない場合、本ソフトウェア等の利用に関し一部制限がかかる場合があります。なお、本規約又は当社プライバシーポリシーは、当社の判断により、適宜変更されることがありますので、予めご了承ください。本規約及び当社プライバシーポリシーについては、本製品の「設定」内の「省エネ・その他の設定」から「ソフトウェアの利用について」をお選びいただくと、ご覧いただけます。

インターネット接続環境又は第三者サービス等

(1) 本製品は、当社サービス又は当社以外の第三者コンテンツプロバイダー（以下、「第三者プロバイダー」といいます。)から提供されるソフトウェア、動画、画像、文書、音声その他一切のコンテンツサービス(以下、「第三者サービス」といいます。)へのアクセスを可能にする機能を搭載しておりますが、この機能を利用するためには、インターネットへの接続環境が必要となっております。当社サービス又は第三者サービス(以下、併せて「本サービス」といいます。)へのアクセス速度やサービスの品質、画質、利用可能な画像サイズその他一切のサービスは、利用者が契約しているインターネットプロバイダーから提供される一切の接続環境(インターネットサービスの性能、回線容量等を含みますが、これに限られません。)又は第三者サービスの配信環境に依存します。

(2) インターネットプロバイダーを含むインターネットサービス事業者への接続料等の支払いについては、利用者が責任を負うこととします。また、本サービスの品質については、利用者が契約しているインターネットプロバイダーから提供される一切の接続環境に依存するものとなります。

(3) 第三者サービスは、当該第三者プロバイダーの判断により提供されるサービスであり、当該第三者プロバイダーの提示する条件に基づいて提供されており、当社は第三者サービスには関与していません。第三者サービスについては、第三者プロバイダーが定める条件に従ってご使用ください。第三者サービスに起因する損害および一切の送受信に関する事項(送受信の非適時性、送受信データの消失、エラー又は不保存を含みますが、これに限られません。)について、当社は一切関与いたしません。

(4) インターネットを利用した情報の送受信に関する機密性又は安全性は、完全に保証されたものではありません。利用者が送受信する一切の情報については、暗号化等の処理が用いられている等の特段の表示がない限り、第三者に傍受されている可能性があります。

本ソフトウェア等又は本サービスの取扱い

(1) 本ソフトウェア等は、衝撃耐性を有していないため、本ソフトウェア等の欠陥や誤作動により、利用者又は第三者の生命、身体、財産等に物理的な損害を与えるような環境下ではご使用いただくことはできません。

本ソフトウェア等は、暗号化技術を含んでいるものもあります。暗号化技術を含むソフトウェア又はコンテンツは、輸出入に関する法律、規則、又は政府による許認可の対象となる可能性があり、利用者は、このような法律、規則、許認可又は条約等一切の規律を順守する責任を負います。なお、暗号化技術を含む本ソフトウェア等は、政府関係機関又は外国政府による使用を意図しておりません。

(2) 本サービスは、利用者の私的利用の範囲内で利用されるものであり、レンタルや入場料又は視聴料を伴う場所における上映その他公共の場での放映を目的に利用することは禁止されております。利用者は、本ソフトウェア等又は本サービスに関する一切の行動(本サービスへのアクセス、閲覧、利用等を含みますが、これに限られません。)について、自ら責任を負い、合法的な目的においてのみ、本ソフトウェア等又は本サービスを利用することができます。利用者は、本ソフトウェア等又は本サービス又はこれらの複製について、商用的又は公共的目的のために、販売、交換、修理又は送信することはできません。また、利用者は、本ソフトウェア等又は本サービスに係る動作を停止させ、又は停止を試みてはなりません。

(3) 本サービスは、現状有姿のまま何らの保証なく提供されるものとします。当社、原権利者又は第三者プロバイダーは、本ソフトウェア等又は本サービスについて、何らの保証(利用者の要求を満たすこと、本ソフトウェア等又は本サービスが中断なく稼働し不具合のないこと、第三者から侵害されないこと、利用者にとって有用であり合目的性があること、正確性や信頼性があること等を含みますが、これに限られません。)も行いません。また、当社又は当社代表者や役員等からの一切の情報の提供は、改めて当社による保証を生じさせるものではなく、本規約上の保証に関する条項を変更させるものではありません。さらに、本サービスの内容は、適宜変更されることがあり、またサービスそのものが終了することもありますので、あらかじめご了承ください。

(4) 本ソフトウェア等又は本サービスは、バグの修正、機能の改善、セキュリティー機能の強化等の目的で、当社、原権利者又は第三者プロバイダーの判断により、事前の通知なく、適宜、アップデート等の修正(以下、単に「修正」といいます。)がなされることがあり、この修正の適用を本ソフトウェア等の継続的な使用の条件にすることもあります。このような修正により、利用者が利用している本ソフトウェア等又は本サービスの機能が変更され、又は一部削除される可能性があります。

本製品又は本ソフトウェア等には放送番組の録画機能が備えられておりますが、修正により、この録画機能が中止され、適切に録画がなされない可能性もあります。また、本製品又は本ソフトウェア等には利用者の嗜好情報に基づいて放送番組を自動録画する機能も備えられていますが、利用者が意図した全ての放送番組の自動録画を保証するものではありません。録画を希望する放送番組がある場合、通常録画予約をお勧めしますが、これについても、録画予約が重複し、若しくは本ソフトウェア等又は本サービスが修正される等の理由で放送番組が録画されない可能性もあります。当社は、放送番組の録画が確実になされることを保証するもので

はありません。なお、録画済みの放送番組は、自動録画用に設定したハードディスク領域の空き容量が少なくなると、自動的に消去されることとなりますので、予めご了承ください。

(5) 利用者は、本規約で明示的に定められたもの以外の目的で、本ソフトウェア等を利用することはできません。本ソフトウェア等は、本規約に基づいて、本製品においてのみ、利用が許諾され、また利用が可能となりますが、利用者に譲渡されるものではありません。また、本ソフトウェア等は、データを自動作成することがありますが、かかるテータは本ソフトウェア等の一部とみなします。利用者は、当社の同意なく、本ソフトウェア等の一部を本ソフトウェア等から分離して利用してはならず、また本ソフトウェア等の一部又は全部の修正、リバースエンジニアリング、逆コンパイル又は逆アセンブルしてはならず、さらに本ソフトウェア等を譲渡、貸与又はリースしてはならないものとします。

(6) 利用者は第三者に対して、当該第三者が本規約の全条項に同意することを条件とし、本製品の譲渡に伴う本ソフトウェア等の一切(本ソフトウェア等のあらゆるアップデート又はバージョンに係る構成部分、媒体、印刷物若しくはその複製が含まれますが、これに限られません。)又は本規約上の地位を譲渡することができますが、当社又は原権利者は、本規約上利用者に許諾されていない全ての権利を留保しております。

(7) 当社、原権利者又は第三者プロバイダーは、利用者に事前の通知なく、当社、原権利者又は第三者プロバイダーの判断により、本ソフトウェア等又は本サービスの全て又は一部を、一次的又は恒久的に変更、中止、終了又は削除することがあります。また、利用者が本規約に違反していると当社が判断した場合、当社は、本規約の履行を強制し、又は不履行を是正するため、あらゆる法的又は技術的な対策(利用者の本ソフトウェア等又は本サービスへのアクセス権限の即時停止等を含むが、これに限られない。)をとることができることとします。

本製品の取扱い等

(1) 本製品又は本ソフトウェア等には、本規約だけでなく、本規約とは別のソフトウェア利用条件に従っていただくもの(以下、「一部ソフトウェア」といいます。)が含まれます。一部ソフトウェアには、オープン・ソース・イニチアチブ(ＯＳＩ)によりオープンソースライセンスと認められたソフトウェアの他、それに代替する類似のソフトウェアライセンス(頒布者に当該ソフトウェアのソースコードを利用可能にしなければならない等の頒布条件の付されたものが含まれますが、これに限りません。)が適用されるソフトウェアもあります。一部ソフトウェアに適用される個々の条件は、本規約又は本製品の「設定」内の「省エネ・その他の設定」から「ソフトウェアの利用について」をお選びいただくと、ご覧いただけます。なお、一部ソフトウェアに適用されるライセンスの条件は、当該一部ソフトウェアにおいて求められる限度において、本規約に代わって適用されるものとし、本規約の内容が、一部ソフトウェアに適用されるライセンスによって禁止されている場合、その限度において、当該本規約の内容は、当該一部ソフトウェアに適用されないものとします。当社は、一部ソフトウェアに適用されるライセンスに求められる限度において、本ソフトウェア等のソースコードを提供することとします。

(2) 本製品又は本ソフトウェア等には、ジェネラル・パブリック・ライセンス(ＧＰＬ)又はグヌー・レッサー・ジェネラル・パブリック・ライセンス(ＬＧＰＬ)の適用を受けるソフトウェアが含まれます。これらのソースコードをご覧になりたい場合は、当社ホームページにて「Linuxに関するお問い合わせ」からお問い合わせください。

ただし、エンド・ユーザー・ライセンス・アグリーメント(ＥＵＬＡ)に同意することを条件として提供される一部ソフトウェアには、著作権者又は当社を含む第三者の保証がないことを前提に、利用者が自身の判断で利用することが認められているものもあります。この場合、当該一部ソフトウェアは無償で利用者に利用許諾されますが、当該一部ソフトウェアの保証(市場性や特定目的適合性に関する黙示の保証も含まれますが、これに限りません。)は適用されず、当該一部ソフトウェアは、現状のまま提供されることとなりますので、利用者は、当該一部ソフトウェアの品質や性能に関する責任を負うこととなります。また、当該一部ソフトウェアに欠陥が確認された場合、修理等に伴う費用やそれに派生する費用について、当社は責任を負いません。また、著作権者やその許諾を受けて当該一部ソフトウェアの変更、再頒布をなし得る者は、法令の定め又は書面による合意がない限り、当該一部ソフトウェアを使用したこと又は使用できないことに起因する損害(データ自体又は正確性の消失、利用者又は第三者が被った損害、他のソフトウェアとのインターフェースの不適合化等の通常損害、特別損害、間接損害、偶発損害等の損害が含まれますが、これに限られません。)について、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合であっても、責任を負いません。当該別途ソフトウェアの利用条件等の詳細については、各ＥＵＬＡをご参照ください。

本サービスに対する姿勢

本製品を通じた本サービスの提供は、当社が本サービスを推奨していることを意味するものではありません。本サービスには広告物を含むことがありますが、同広告物は本サービスを提供するのにやむを得ず掲載等をしているものもあります。なお、当社又は第三者プロバイダーは、同広告物やコンテンツが正確性を有していること、適法であること、信頼に足りるものであることを保証するものではありません。

また、本サービスの一部は、年少者又はそれに準じる者に対して適切でないものも含まれます。そのようなサービスは、年齢制限が指定されているものもあれば、そのような指定がされていないものもありますが、そのようなサービスの利用については利用者自らの判断と責任で行っていただくこととなります。そのため、年少者による本サービス全般の利用について、利用者による監視監督が必要な場合があります。なお、利用者が未成年であれば、次のいずれかのサービス又はそれに類するサービスを利用する前に、親権者等の法定代理人の同意を得る必要があります。

- 当社にメッセージその他一切の情報を送る行為
- ゲームまたは懸賞等に参加する行為
- グループ又はチャットルームに参加し、若しくは掲示板へ投稿する行為
- 物品又はサービスを購入する行為

なお、当社は、新規又は既存の当社サービスの利用について、課金を要するような変更を加える権利を留保します。利用者の同意なく一方的に課金されることはありませんが、利用者が課金に同意しない場合、利用者は当社サービスの内課金対象となったサービスを利用できないことがあります。

アカウント等の機密保持等

利用者は、当社又は第三者プロバイダーにより、本ソフトウェア等又は本サービスの利用にあたってユーザーアカウント又はパスワード(以下、「アカウント等」といいます。)の作成又は更新を求められることがあります。利用者は、自らの責任のもとで、アカウント等の機密性を保持することとし、このような機密性の保持については、利用者が一切の責任を負うものとします。

利用者が本規約に従って本製品を返品、譲渡し、又は本規約が解除される場合、利用者は、本製品を通じてアクセスし取得したアカウント等を消去し、本製品をすべて初期化して購入時の状態に戻すこととします。

当社による情報の利用等

当社は、利用者が提供した一切の情報（提供方法の如何を問わず、またコメント、メッセージ、質問及び回答、提案その他一切のデータを含みますが、これに限られません。以下、「利用者情報」といいます。）は、すべて機密情報又は利用者に専属的に帰属する情報でないものとして取り扱います。そのため、当社による利用者情報の利用は、利用者のいかなる権利（所有権又は著作権、著作者人格権等の知的財産権等を含みますが、これに限られません。）も侵害したことにならず、また、すべての利用者情報は、地域の限定なく利用（複製、開示、放映、上演、出版、販売、送信、公表、翻案等を含みますが、これに限られません。）される可能性があります。また、利用者は、すべての利用者情報に関する権利等を当社に譲渡することとし、当社は、利用者に対価を支払うことなく、利用者情報に含まれるアイデアや技術等の知的財産権を自由に利用することができるものとします。なお、当社が利用者情報を取得しても、利用者情報又はそれに含まれる知的財産権を利用する義務を負うものではありません。

なお、インターネットを利用した情報の送信に関する機密性又は安全性は、完全に保証されたものではありません。利用者が送信する一切の情報については、暗号化等の処理が用いられている等の特段の表示がない限り、第三者に傍受されている可能性があります。

第三者プロバイダーによる情報収集等

第三者プロバイダーにより、第三者サービスを通じて、利用者に関する情報が収集されることがありますが、当社は責任を負うものではありません。第三者プロバイダーによる情報収集については、当該第三者サービスに関するプライバシーポリシーを事前にご確認ください。

知的財産権の取扱い

本サービスは、知的財産権に関する条約、法律又は規則等により保護されています。本サービスの利用を認めることは、当社、原権利者又は第三者プロバイダーが、利用者に対して、保有するロゴ、サービスマーク、商標、商号その他これらに類するものに関する権利を譲渡又は利用許諾するものではありません。本サービス又は本サービスの複製に関する一切の権利は、当社、原権利者又は第三者プロバイダーに帰属するものとし、本規約において明示的に許諾されていない一切の権利についても同様とします。

本規約の改定

本規約は、当社の判断（利用者が本規約に違反したことを含むが、これに限られない。）により、適宜、変更、追加又は削除されることがあります。いずれの場合も、利用者には、その実施後に通知（本ソフトウェア等によって行われます。）されますが、当該通知があった以降、利用者が本ソフトウェア等又は本サービスを利用することをもって、変更、追加又は削除された新たな契約内容に同意したものとさせていただきます。

免責

当社、原権利者又は第三者プロバイダーは、当社、原権利者又は第三者プロバイダー各々自らによる故意または重大な過失がある場合を除き、各々の債務不履行と因果関係の認められる通常の損害以外のものについては、責任を負いません。

利用者の責任

利用者に次のいずれかの事由又はこれらに類する事由が生じて、当社、当社関係者（役員や従業員を含みますが、これに限られません。以下、併せて「紛争関係者」といいます。）又は利用者と第三者とのあいだで紛争が生じた場合、利用者は、紛争関係者と協議の上、自己の名前と責任、費用でそれら紛争を解決することとし、紛争関係者に一切の迷惑をかけないようにしなければなりません。なお、紛争関係者は、利用者から補償を受けることを前提に、自己の名前と責任、費用で当該紛争を解決する権利を留保します。

- 本規約に違反し、又は違反するおそれがあること
- 当社に対して何らかの情報が提供されたこと
- 第三者に対する権利侵害があったこと
- 本ソフトウェア等又は本サービスが損傷又は毀損されたこと

なお、利用者は、同紛争を解決するため、自己の判断で代理人を選任することができますが、利用者が紛争関係者の代理人を選任する場合、当該紛争関係者の同意を得なければなりません。利用者は、紛争関係者の事前の書面による同意を得ることなく、紛争関係者の不利益になるような合意をすることはできません。

完全合意等

本規約、本製品に関する保証、当社プライバシーポリシー又は当社サービス（修正されたものも含みますが、これに限りません。）は、これらの利用に関して、利用者と当社との間の完全合意であることとします。

当社による本規約上の権利の不行使は、それらの権利を放棄するというものではありません。仮に本規約の一部が関係法令等により無効になったとしても、それ以外の部分は本規約の趣旨に鑑みて有効に存続するものとし、利用者に適用されるものとします。

原権利者又は第三者プロバイダーは、本規約における受益者として取り扱われることがあります。本規約は、適宜適切に、原権利者又は第三者プロバイダーのために適用されるものとします。

本規約に定めのない事項又は本規約の解釈に疑義が生じた場合、当社と利用者とは、誠実に協議し、これを解決するものとします。

存続期間等

利用者が本規約に違反した場合、又は本規約に違反していると当社が判断した場合、当社は、事前の通知なく直ちに本規約を解除することができるものとし、このような解除がなされるまでの間、本規約は有効に適用されるものとします。

なお、このような解除がなされた場合、利用者は、本製品、本ソフトウェア等その他これらの複製品を直ちに廃棄又は返還しなければなりません。また、利用者は、当社、原権利者又は第三者プロバイダーに対し、このような解除がなされたことに伴い、費用の償還を求めることはできないものとします。

準拠法、裁判管轄

本規約の準拠法は、日本国の法律とします。本規約に関わる一切の紛争については、訴額に応じて東京地方裁判所又は東京簡易裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

以上

最終更新日　2024年4月1日

仕様

種類		4K液晶テレビ		
形名		55Z870N	65Z870N	75Z870N
受信機型サイズ		55V	65V	75V
電源		AC 100V 50/60Hz共用		
消費電力 ※1、※2		245W 電源「待機」時 0.4W、 （機能動作時 23W）	292W 電源「待機」時 0.4W、 （機能動作時 23W）	314W 電源「待機」時 0.4W、 （機能動作時 23W）
年間消費電力量		121kWh/年	140kWh/年	151kWh/年
区分名		c（4K以上液晶テレビ）		
スタンドを含む外形寸法 ()は本体のみ	幅	123.3(123.3)cm	145.2(145.2)cm	167.4(167.4)cm
	高さ	77.2(73.2)cm	89.5(85.7)cm	101.9(98.1)cm
	奥行	26.5(7.5)cm	30.0(7.6)cm	35.1(7.9)cm
スタンドを含む質量 ( )は本体のみ		23.5(19.8)kg	31.5(27.1)kg	46.0(38.8)kg
液晶画面	画面寸法	幅121.0cm、 高さ68.0cm、 対角138.8cm	幅142.8cm、 高さ80.4cm、 対角163.9cm	幅165.0cm、 高さ92.8cm、 対角189.3cm
	駆動方式	TFTアクティブマトリクス		
	画素数	水平3840×垂直2160		
受信チャンネル		地上デジタル：地デジ011～地デジ528(CATVパススルー対応) BSデジタル：BS100～BS999、 110度CSデジタル：CS001～CS999 BS・110度CS 4K：BS 4K 001 ～ 499、CS 4K 500 ～ 999		
スピーカー		フルレンジ 2個、ツィーター 2個、トップツィーター 2個、ウーファー 1個		
音声出力		実用最大出力 60W（15W+15W+5W+5W+20W）（同時駆動、JEITA）		
入力・出力端子	HDMI入力	HDMI入力 4系統（eARC/ARC：HDMI入力2のみ対応）		
	ビデオ入力	口径3.5mmミニジャック※3		
	USB（録画専用）端子 タイムシフトマシン録画増設 A B	USB3.0、定格出力：DC 5V 900mA MAX		
	USB（録画専用）端子 通常録画 C	USB3.0、定格出力：DC 5V 900mA MAX		
	USB（AV周辺機器専用）端子	USB2.0、定格出力：DC 5V 900mA MAX		
	光デジタル音声出力	光デジタル音声出力 1系統		
	ヘッドホン端子	口径3.5mmステレオミニジャック		
	LAN端子	RJ-45		
使用環境条件		温度：0℃～35℃、相対湿度：20%～80%（結露のないこと）		
付属品		「付属品を確認する」2 -をご覧ください。		

※1：電源「待機」時の消費電力は、設定の「外部機器から電源オン」を「オフ」にしているときの消費電力です。

※2：（機能動作時）の消費電力は、電源「待機」時に以下の動作をしているときの消費電力です。

- 番組情報などを取得しているとき

※3：市販の4極ミニプラグの映像/音声ケーブルをご使用ください。

無線LANの仕様

規格	IEEE802.11n ／ IEEE802.11a ／ IEEE802.11g ／ IEEE802.11b ／ IEEE802.11ac準拠 ARIB STD-T71 ／ ARIB STD-T66 ※ 従来の無線規格であるJ52には対応しておりません。
伝送方式	OFDM方式／ DSSS方式
周波数範囲（中心周波数）およびチャンネル	**IEEE802.11n ／ IEEE802.11a ／ IEEE802.11ac：** 5.18GHz ～ 5.24GHz（36、40、44、48）[W52] 5.26GHz ～ 5.32GHz（52、56、60、64）[W53] 5.50GHz ～ 5.70GHz（100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140）[W56] **IEEE802.11n ／ IEEE802.11g ／ IEEE802.11b：** 2.412GHz ～ 2.472GHz（1 ～ 13）
動作モード	インフラストラクチャーモード（アドホックモードは対応しておりません。）

- 意匠・仕様・ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
- 受信機型サイズ（55Ｖなど）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- このテレビを使用できるのは日本国内だけで、外国では放送方式、電源電圧が異なるため使用できません。
  (This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
- 本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。
- 本商品の改造は感電、火災などのおそれがありますので行わないでください。
- イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。
- 省エネルギーのため長時間テレビを見ないときは電源プラグを抜いてください。
- 年間消費電力の区分名とは： 省エネ法において、画素数およびパネルの種類に基づき規定されている名称のことです。
- 年間消費電力量とは： 省エネ法に基づいて、 1日あたり5.1時間の平均視聴時間／ 18.9時間の待機時間（電子番組表取得時間を含む）で算出した、一年間に消費する電力量です。
- 「JIS C 61000-3-2 適合品」 - JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性一第3-2部：限度値一高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99.99%以上の有効画素があり、ごく一部（0.01%以下）に光らない画素や、常時点灯する画素などがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。

※ 国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは有料放送契約上禁止されています。
(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)

グリーンマークは、「JIS C0950電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法」（通常J-Moss）での、特定の化学物質の含有率が基準値以下であることを表すマークです。

保証とアフターサービス

必ずお読みください

❶ 基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご確認

サポートメニューのよくあるご質問(FAQ)やチャット、メール、LINEでお問い合わせいただけます。

https://v-ivr-cs.regza.com/

※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。

❷ 商品選びのご相談、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

「東芝テレビご相談センター」

【一般回線・PHSからのご利用は】
フリーダイヤル(通話料：無料)
0120-97-9674

【携帯電話からのご利用は】
ナビダイヤル(通話料：有料)
0570-05-5100

● IP電話などでフリーダイヤルサービスをご利用になれない場合は、
03-6830-1048（通話料：有料）

【FAXからのご利用は】(通信料：有料)
03-3258-0470

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する当社グループ会社、東芝家電製品関連各社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

修理・お取り扱いについてご不明な点は

お買い上げの販売店または、「東芝テレビご相談センター」(上記)にご相談ください。

保証期間(ご購入後一年間)を過ぎた故障で、販売店の延長保証に加入されている場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

保証書(裏表紙)

● 所定事項記入のうえ、本体に貼り付けております「保証書用ラベル」を保証書内の形名・製造番号欄へ貼り付け、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間…お買い上げの日から1年間です。

● 保証期間中の故障は、保証書の内容に基づき無料修理となります。無償商品交換ではありません。
● 訪問修理を依頼され、テレビに原因がないと判明した場合は、保証期間中であっても出張料などを申し受けますので、あらかじめご承知おきください。

補修用性能部品の保有期間

● 液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。ただし、場合により、補修に代えて補修額に相当する金額にて他のテレビに交換をお願いする場合がありますので、ご了承願います。
● 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは～出張修理

- 「困ったときには」に従って調べていただき、なお異常があるときは本体の電源を待機にし、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

■ 保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■ 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

■ ご連絡いただきたい内容

品名	4K液晶テレビ
形名	55Z870N、65Z870N、75Z870N
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印などもあわせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	
お買い上げ店名	おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入しておくと便利です。 TEL（　　）　　―

廃棄時にご注意願います

- 家電リサイクル法では、ご使用済の液晶テレビを廃棄する場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いの上、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

長年ご使用のテレビの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

愛情点検

ご使用の際このような症状はありませんか？	・電源を入れても映像や音が出ない。 ・映像が時々、消えることがある。 ・焦げ臭いにおいがしたり、煙が出たりする。 ・電源を切っても、映像や音が消えない。 ・内部に水や遺物が入った。	▶	ご使用中止	このような場合は、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。 ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

TVS REGZA株式会社

〒212−0058　神奈川県川崎市幸区鹿島田1−1−2

※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

TV/O 1404085 RSAG2.025.9221SS A

©TVS REGZA CORPORATION 2024